

2008年9月9日

# 大都市圏の役割と政策課題

## 国際的都市間競争の中での東京

明治大学専門職大学院長

市川宏雄

©Hiroo Ichikawa

# 21世紀の国家の姿

都市と地方はどのような関係にあればよいか  
成熟経済の下での都市のヴィジョンとは何か  
均衡ある発展、分散政策の結末をどう生かすか  
国際競争力を前提とした都市政策・国土政策  
地域特性と役割に応じた政策立案と施策実行

<キーワード>

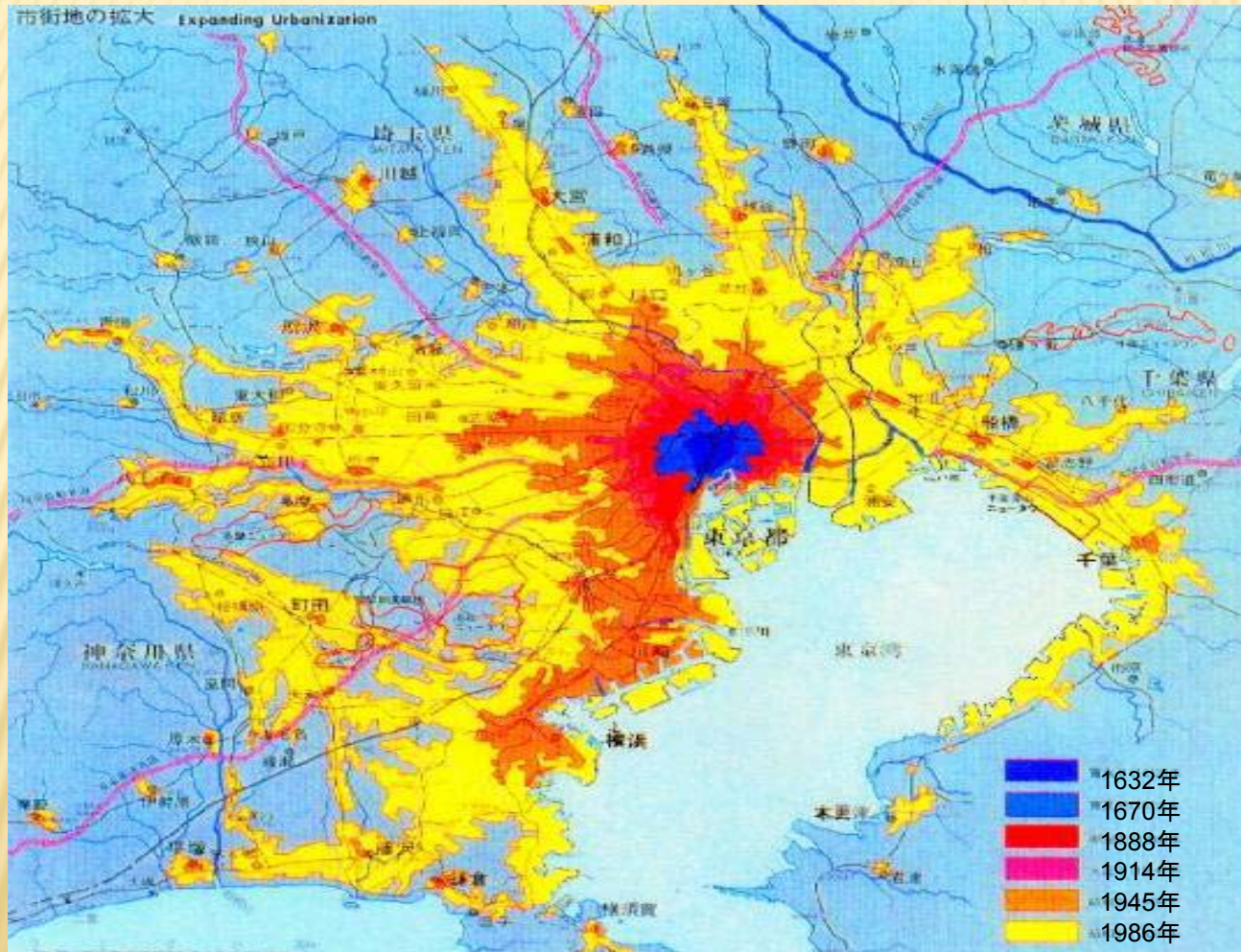
集積とコンパクト化	≡	選択と集中
産業構造の変化	vs	地域自立の産業
集約生産的地域	vs	非生産的地域
規制・誘導	vs	創生・活用

**大胆な発想の転換と新たな制度設計**

---

# 東京圏の肥大と東京の 役割の増加

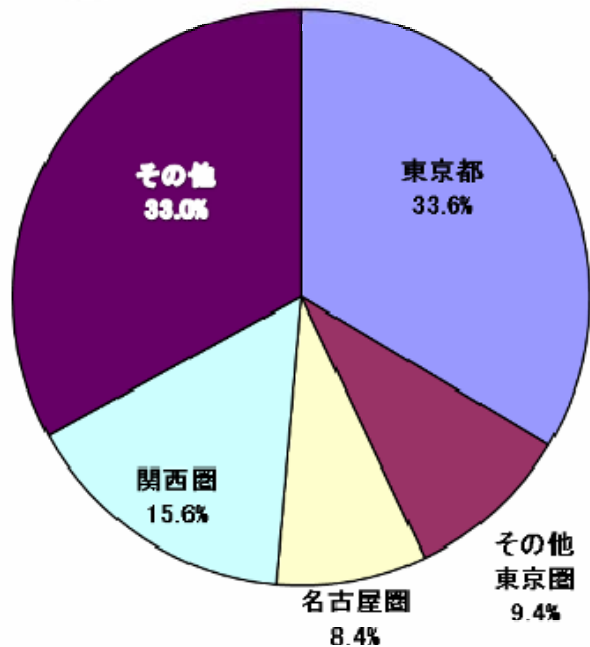
# 東京圏の市街地の拡大（400年間）



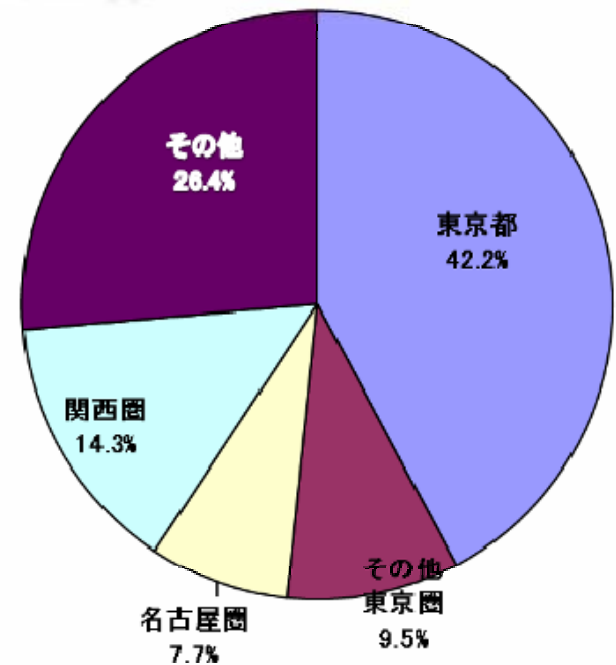
（東京都資料）

# 大都市圏別所得税及び法人税 (2001年⇒2005年度決算 道府県税)

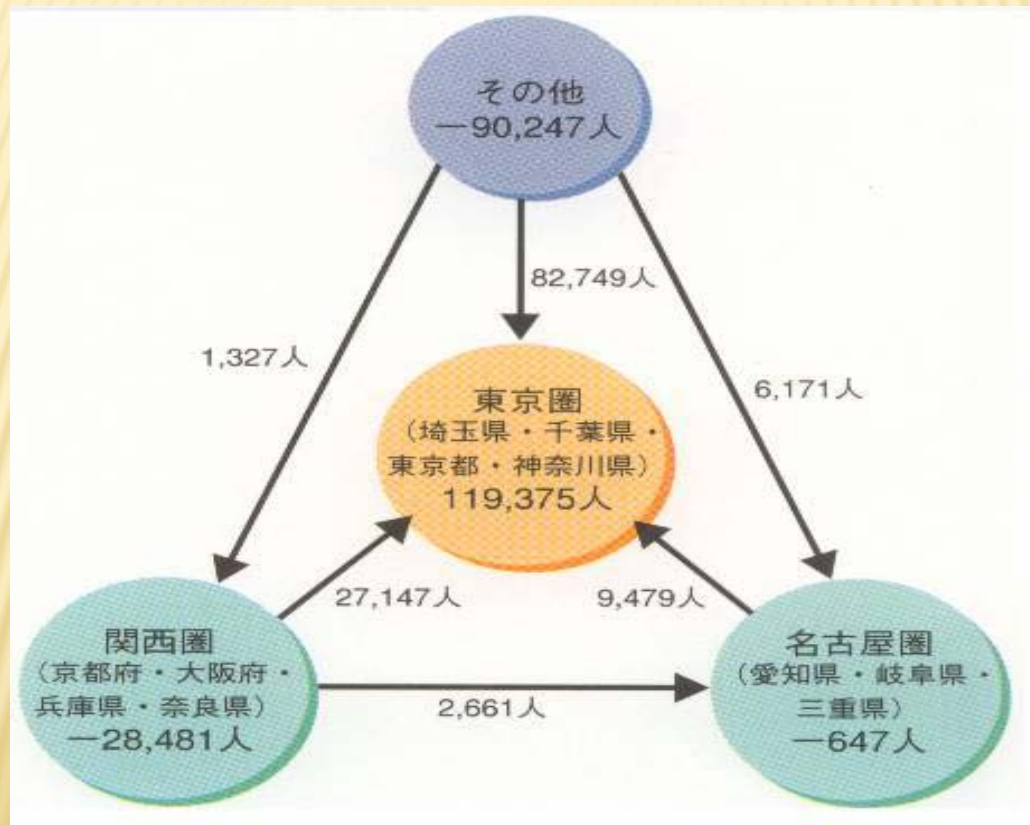
2001年



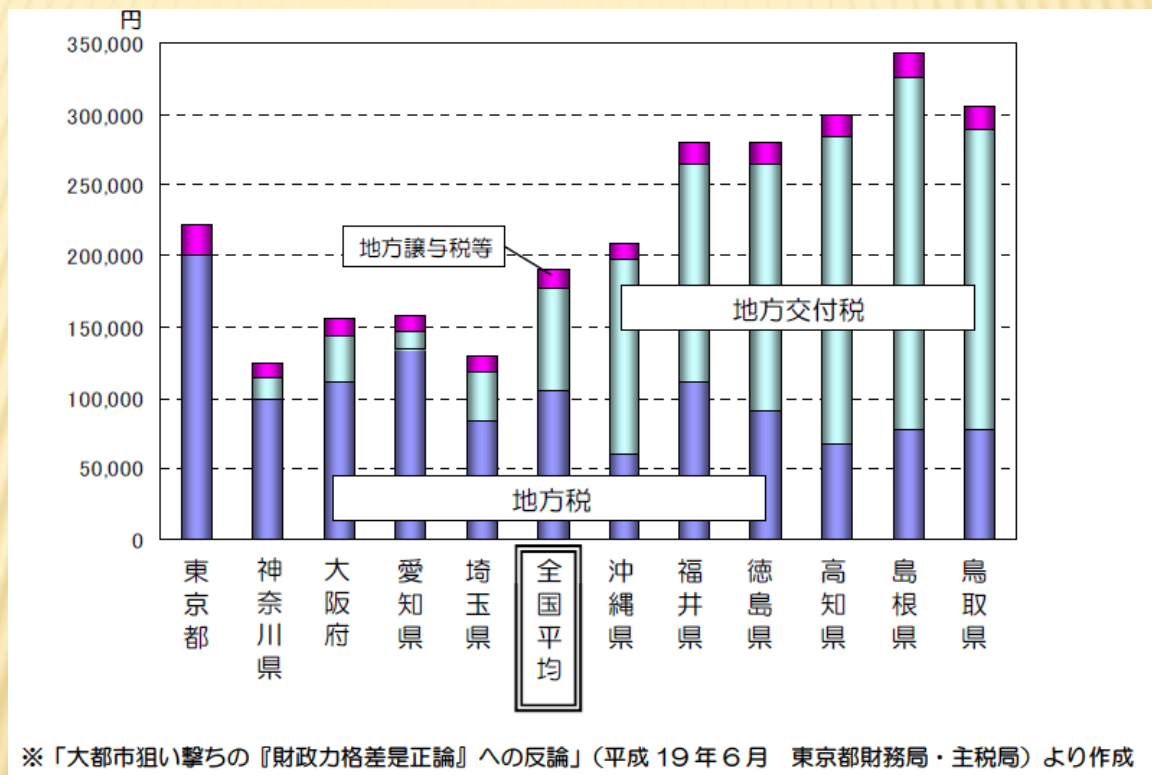
2005年



# 大都市間人口移動（2002年）

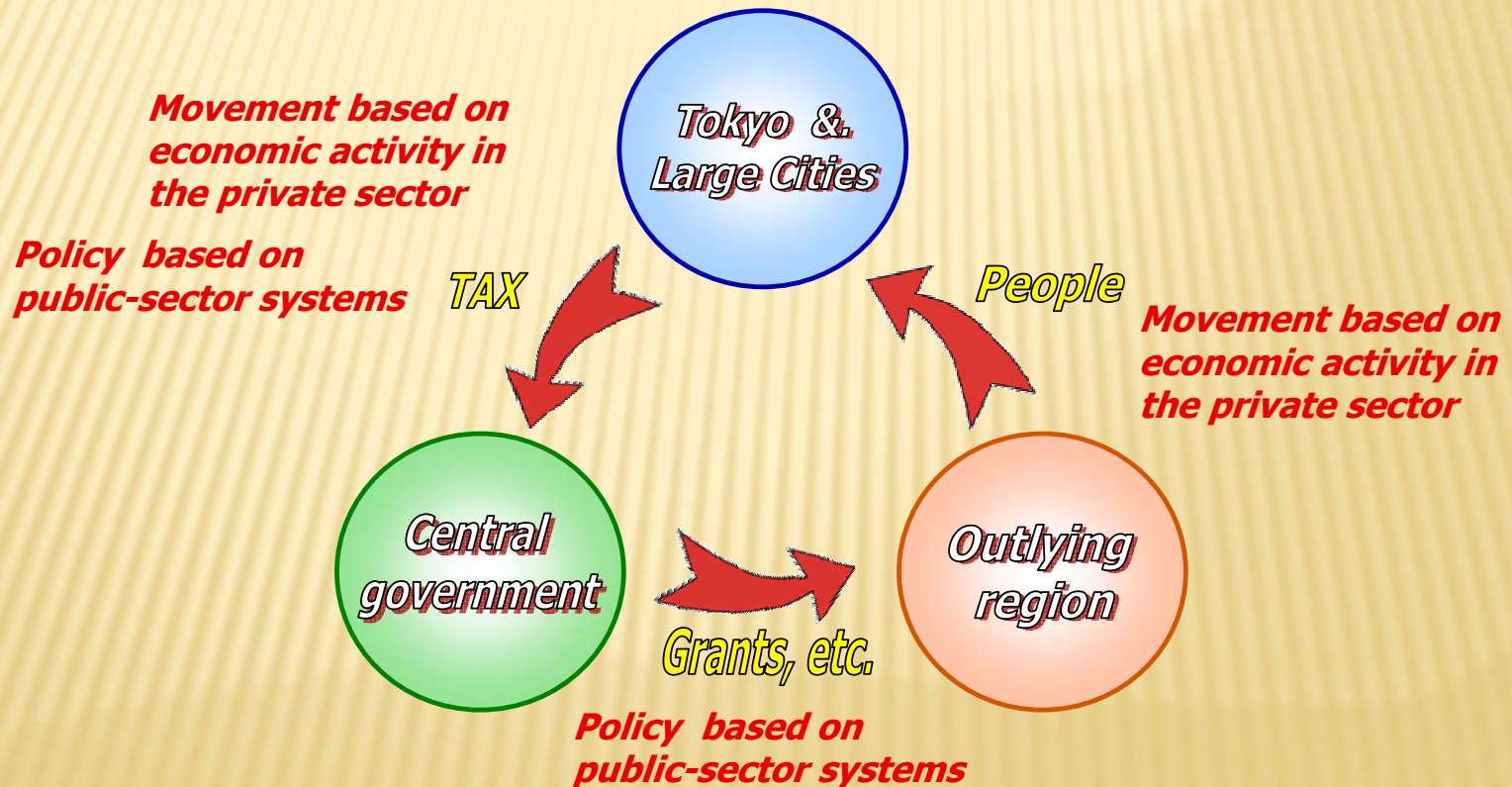


# 人口一人あたりの 一般財源額（2005年度決算 道府県税）



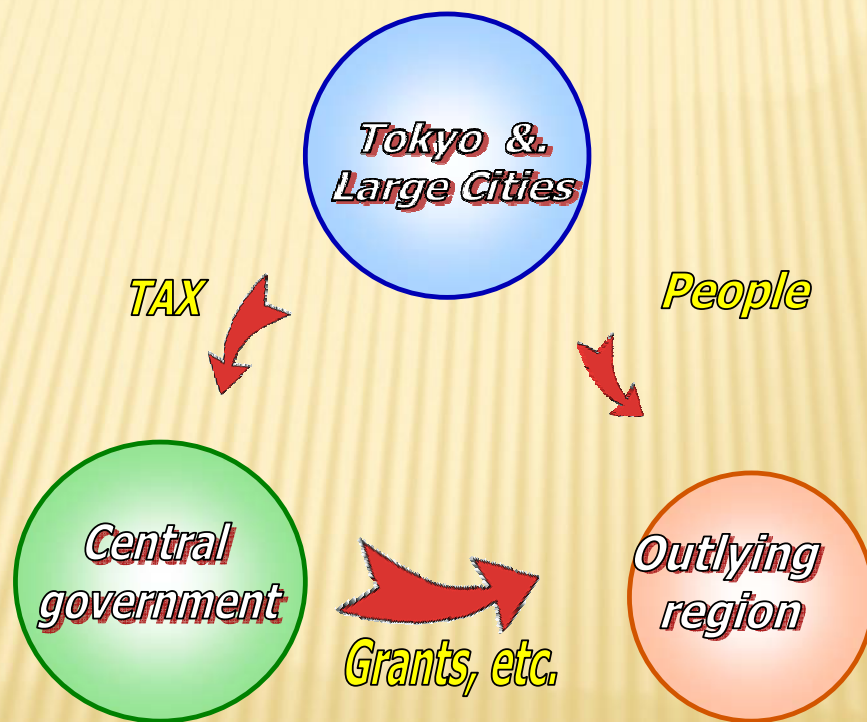
（東京自治制度懇談会資料）

# 国家運営の仕組み (中央政府、大都市、地方)



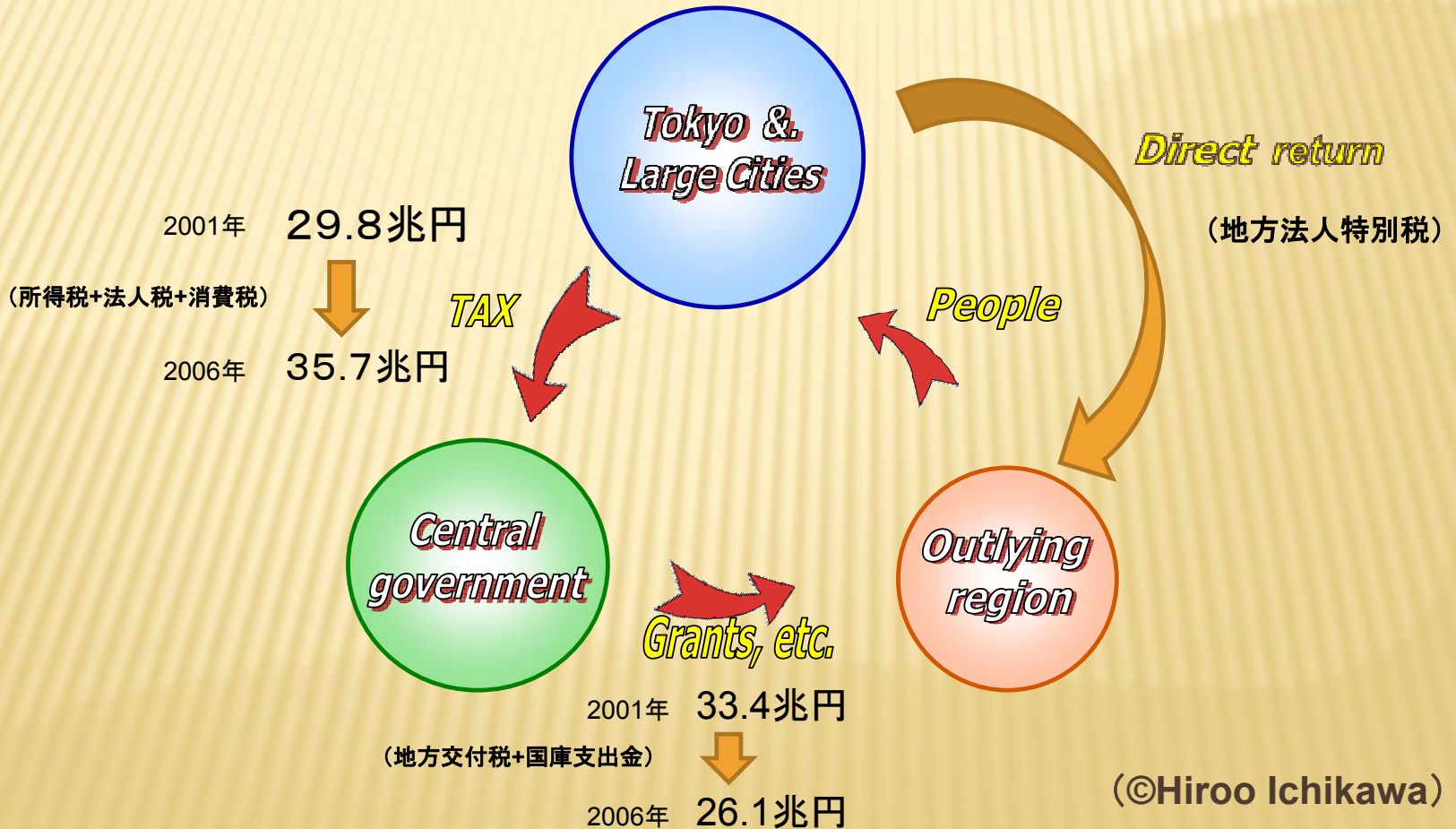


# バブル経済崩壊による仕組みの機能不全 (大都市⇒中央政府⇒地方) 1990年代後半



# 国家運営におけるアジャストの必要 (中央政府⇒地方)

21世紀初頭



(©Hiroo Ichikawa)

# **均衡ある発展政策**

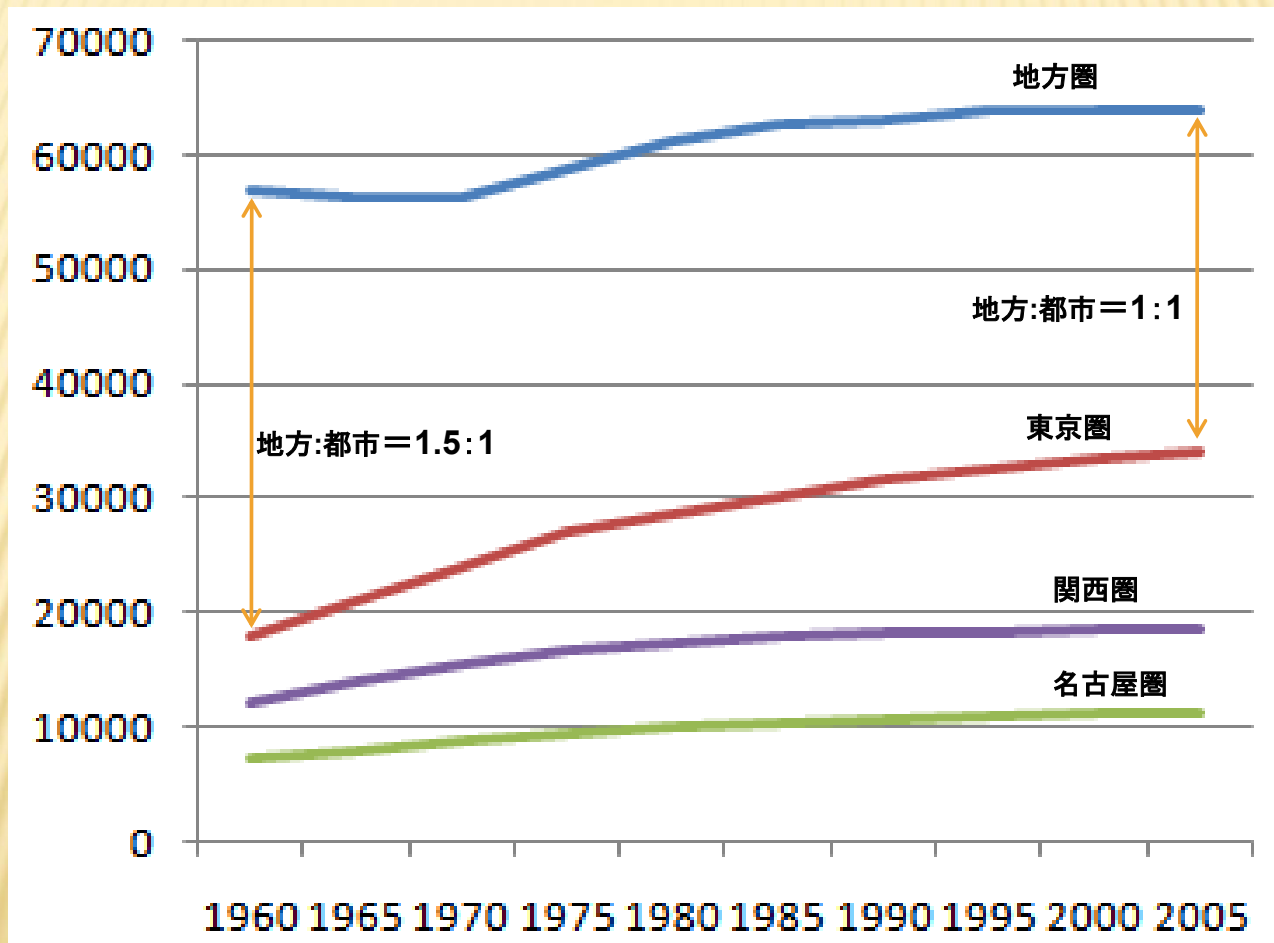
## **— 地方は自立できたか —**

# 全国総合開発計画の推移(1962年-1999年)

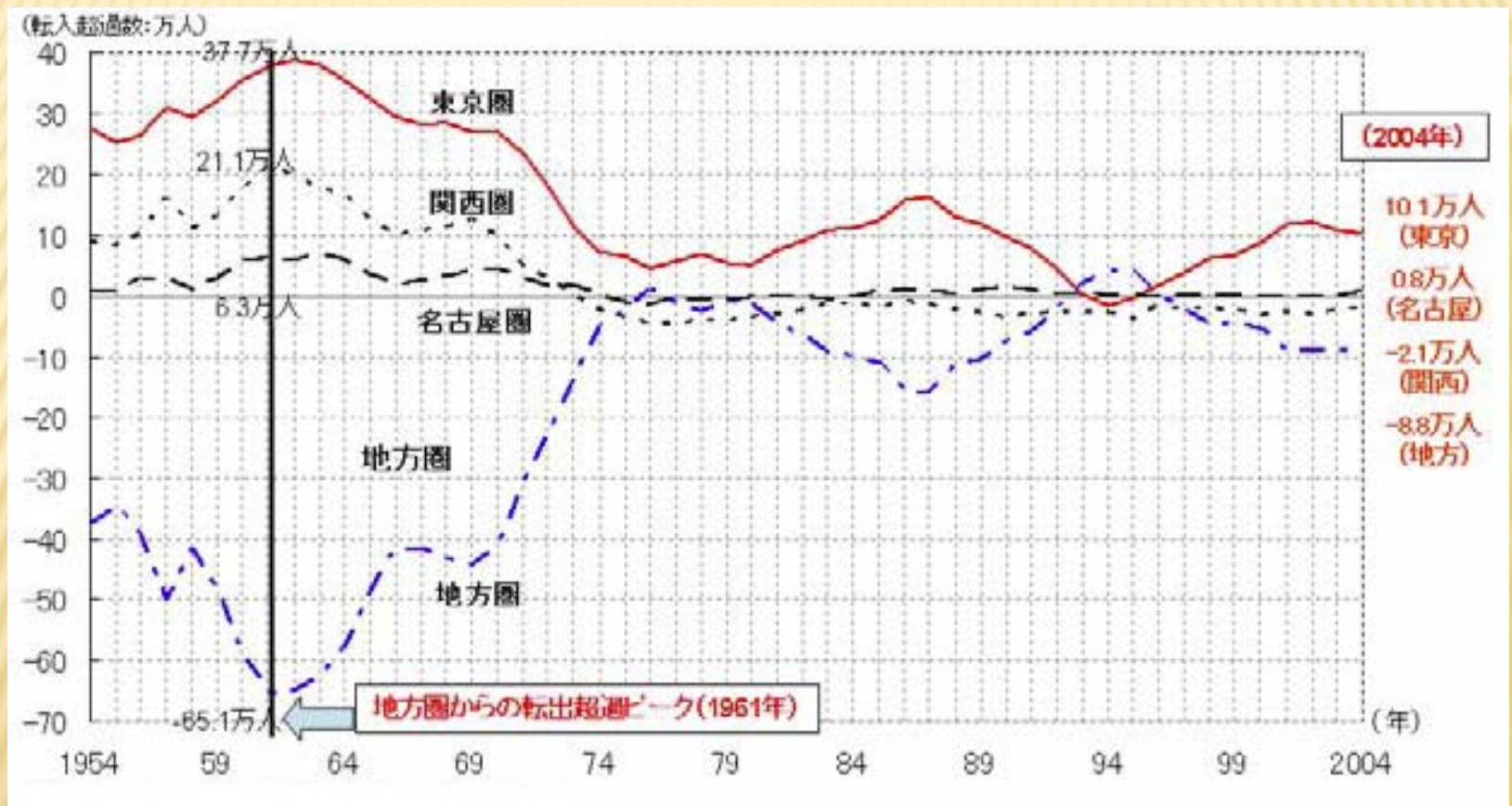
	全国総合開発計画 (全総)	新全国総合開発計画 (新全総)	第三次全国総合開発 計画(三全総)	第四次全国総合開発 計画(四全総)	21世紀の国土の グランドデザイン
閣議決定	昭和37年10月5日	昭和44年5月30日	昭和52年11月4日	昭和62年6月30日	平成10年3月31日
策定時の 内閣	池田内閣	佐藤内閣	福田内閣 <b>(主要産業: 製造業⇒サービス産業)</b>	中曽根内閣	橋本内閣
背景	1 高度成長経済への 移行 2 過大都市問題、所 得格差の拡大 3 所得倍増計画(太 平洋ベルト地帯構想 ) <b>(東京、名古屋、大阪)</b>	1 高度成長経済 2 人口、産業の大都市 集中 3 情報化、国際化、技 術革新の進展	1 安定成長経済 2 人口、産業の地方 分散の兆し 3 国土資源、エネル ギー等の有限性の顕 在化	1 人口、諸機能の東 京一極集中 2 産業構造の急速な 変化等により、地方 圏での雇用問題の深 刻化 3 本格的国際化の進 展	1 地球時代(地球環 境問題、大競争、アジ ア諸国との交流) 2 人口減少・高齢化 時代 3 高度情報化時代
目標年次	昭和45年	昭和60年	昭和52年からおおむね 10年間	おおむね平成12年 (2000年)	平成22年から27年 (2010-2015年)
基本目標	<b>地域間の均衡ある発展</b>	豊かな環境の創造	人間居住の 総合的環境の整備	<b>多極分散型国土の構築 (全国に小東京を育成)</b>	多軸型国土構造 形成の基礎づくり
開発方式 等	<b>拠点開発構想</b>  目標達成のため工業の分散 を図ることが必要であり、東京 等の既成大集積と関連させ つつ開発拠点を配置し、交通 通信施設によりこれを有機的 に連絡させ相互に影響させると 同時に、周辺地域の特性を生 かしながら連鎖反動的に開 発をすすめ、地域間の均衡あ る発展を実現する。	<b>大規模プロジェクト 構想</b>  新幹線、高速道路等のネッ トワークを整備し、大規模プ ロジェクトを推進することによ り、国土利用の偏在を是正し、 過密過疎、地域格差を解 消する。	<b>定住構想</b>  大都市への人口と産業の集 中を抑制する一方、地方を振 興し、過密過疎問題に対処し ながら、全国土の利用の均衡 を図りつつ人間居住の総合的 環境の形成を図る。	<b>交流ネットワーク構想</b>  多極分散型国土を構築する ため、①地域の特性を生かし つつ、創意と工夫により地域 整備を推進、②基幹的交通、 情報・通信体系の整備を国自 らあるいは国の先導的な指針 に基づき全国にわたって推進 、③多様な交流の機会を国、 地方、民間諸団体の連携によ り形成。	<b>参加と連携</b>  一多様な主体の参加と地域連 携による国土づくり (4つの戦略) 1 多自然居住地域(小都市、 農山漁村、中山間地域等) の創造 2 大都市のリノベーション(太 平洋ベルト地帯の修復、更新) <b>(地域区分: 東京都市圏)</b> 3 地域連携軸(軸状に連なる 地域連携のまとまり)の展 開 4 広域国際交流圏(世界的な 交流機能を有する圏域の形 成

(国土交通省国土局資料)

# 都市圏別の人口推移（1960年-2005年）

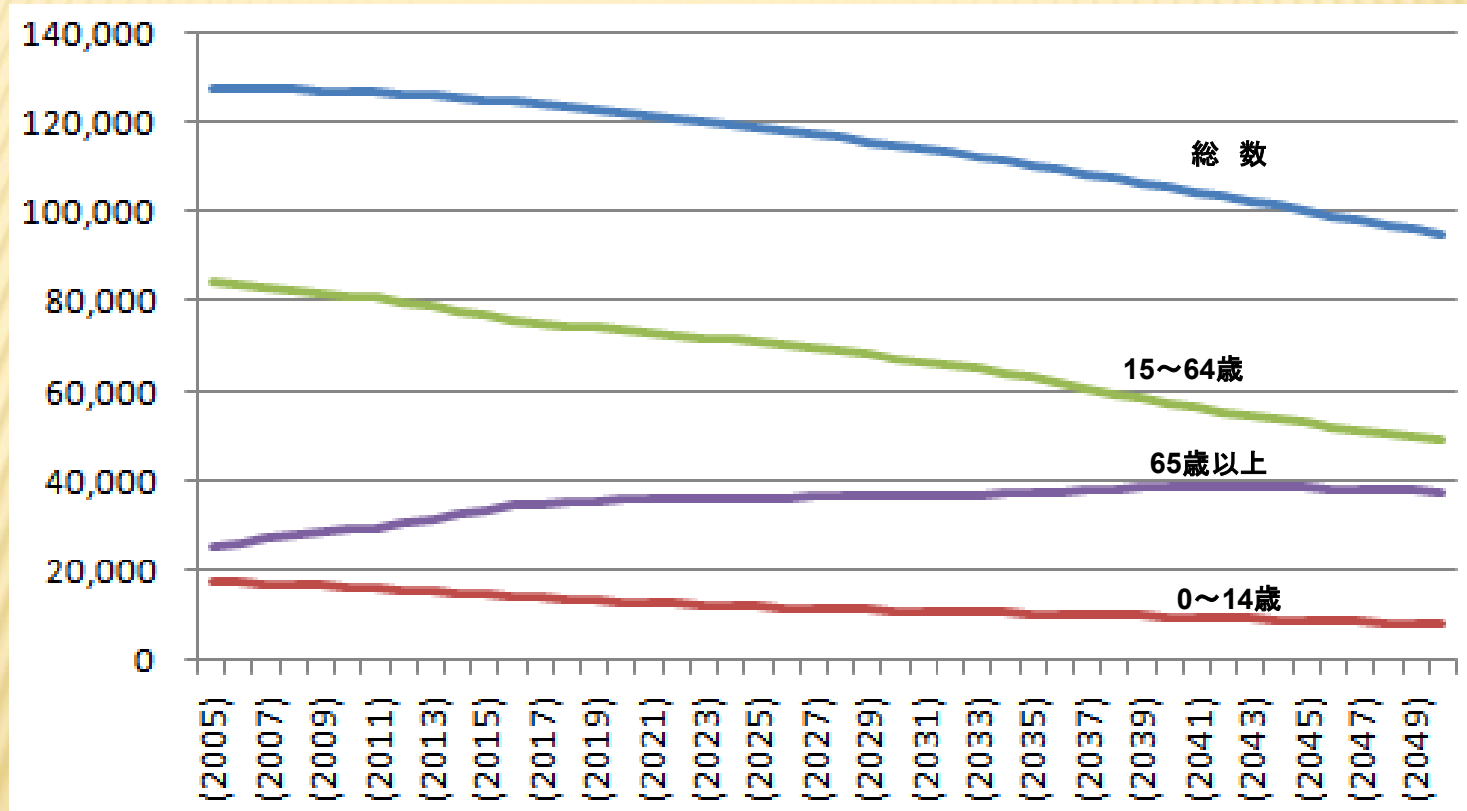


# 大都市圏への人口流入状況(1954年-2004年)



(国土交通省国土局資料)

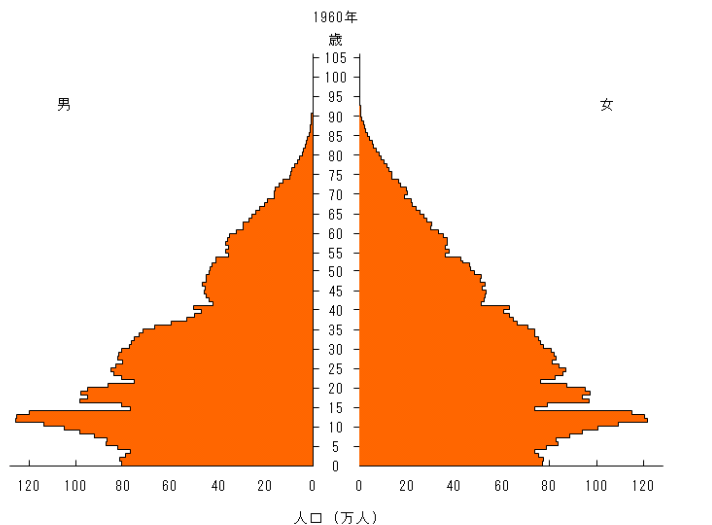
# 日本の人口推移（2005年-2050年）



(中位推計値)

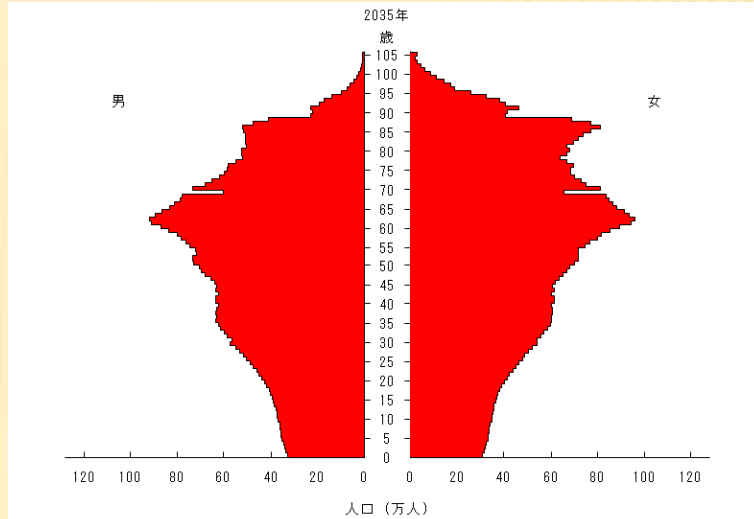
(国立人口問題研究所)

## 戦後最大の経済成長へー1960年



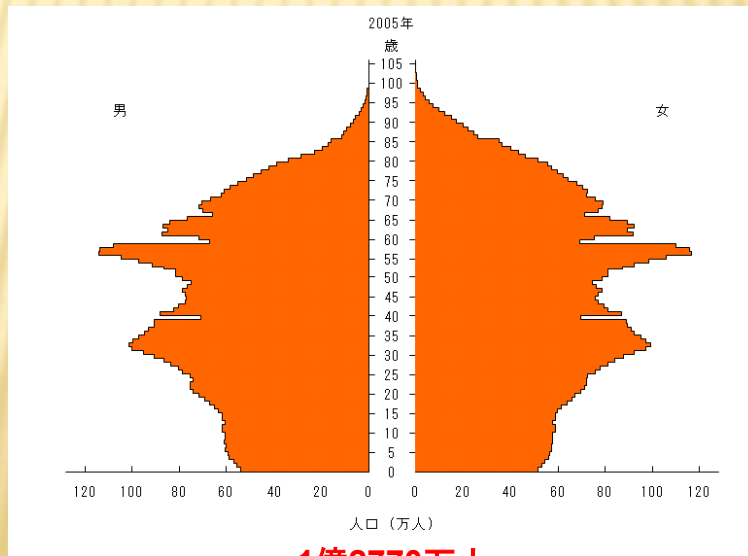
9340万人

## 高齢化が進展しコンパクト型国家への移行ー2035年



1億160万人

## バブル経済崩壊後の成熟経済への移行ー2005年



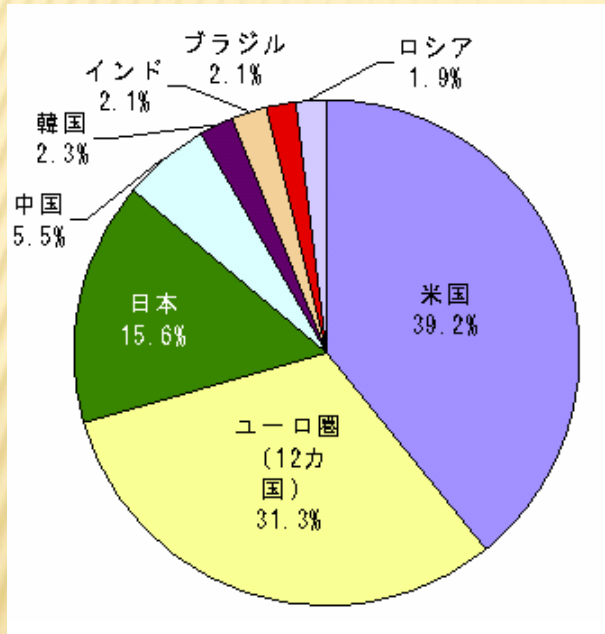
1億2770万人

(国立人口問題研究所)

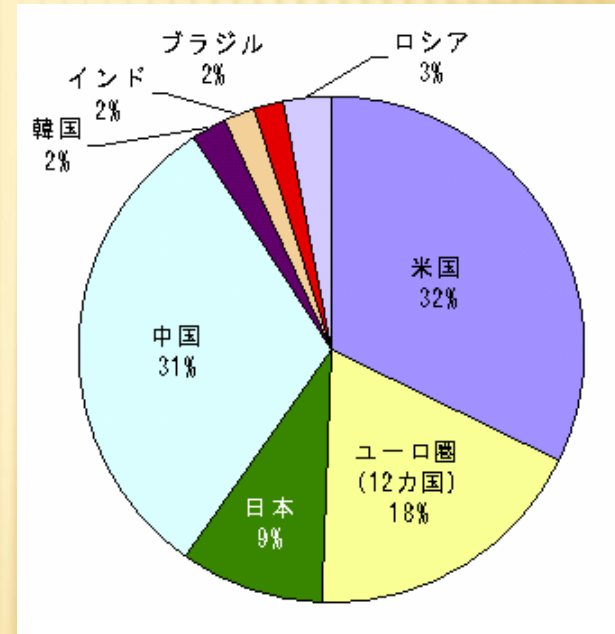


# 日本の名目GDPシェア(2004年・2030年)

2004年



2030年



(国土交通省国土局資料)

---

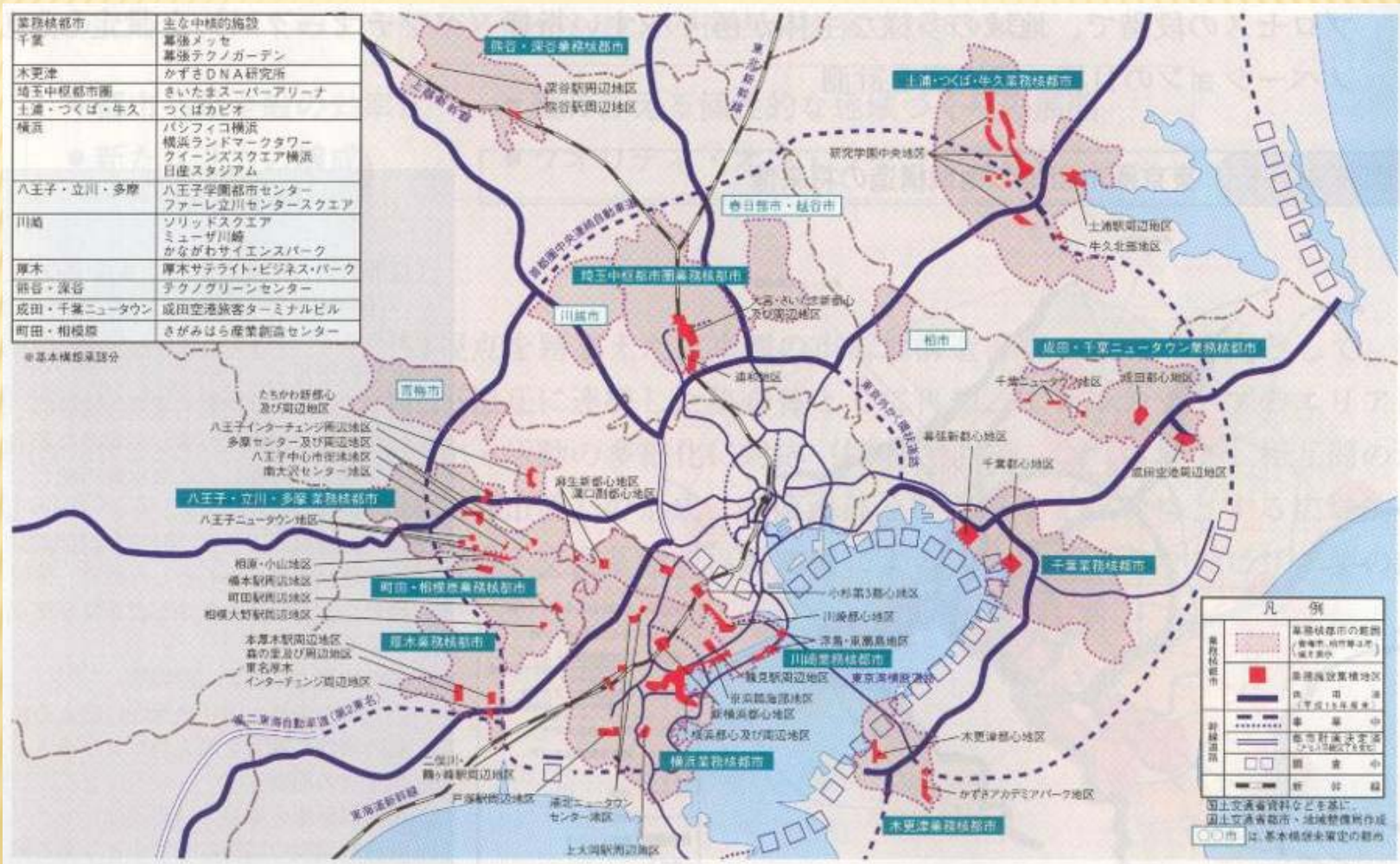
# 都市圏分散政策の結末

## — 都心集積の進行 —

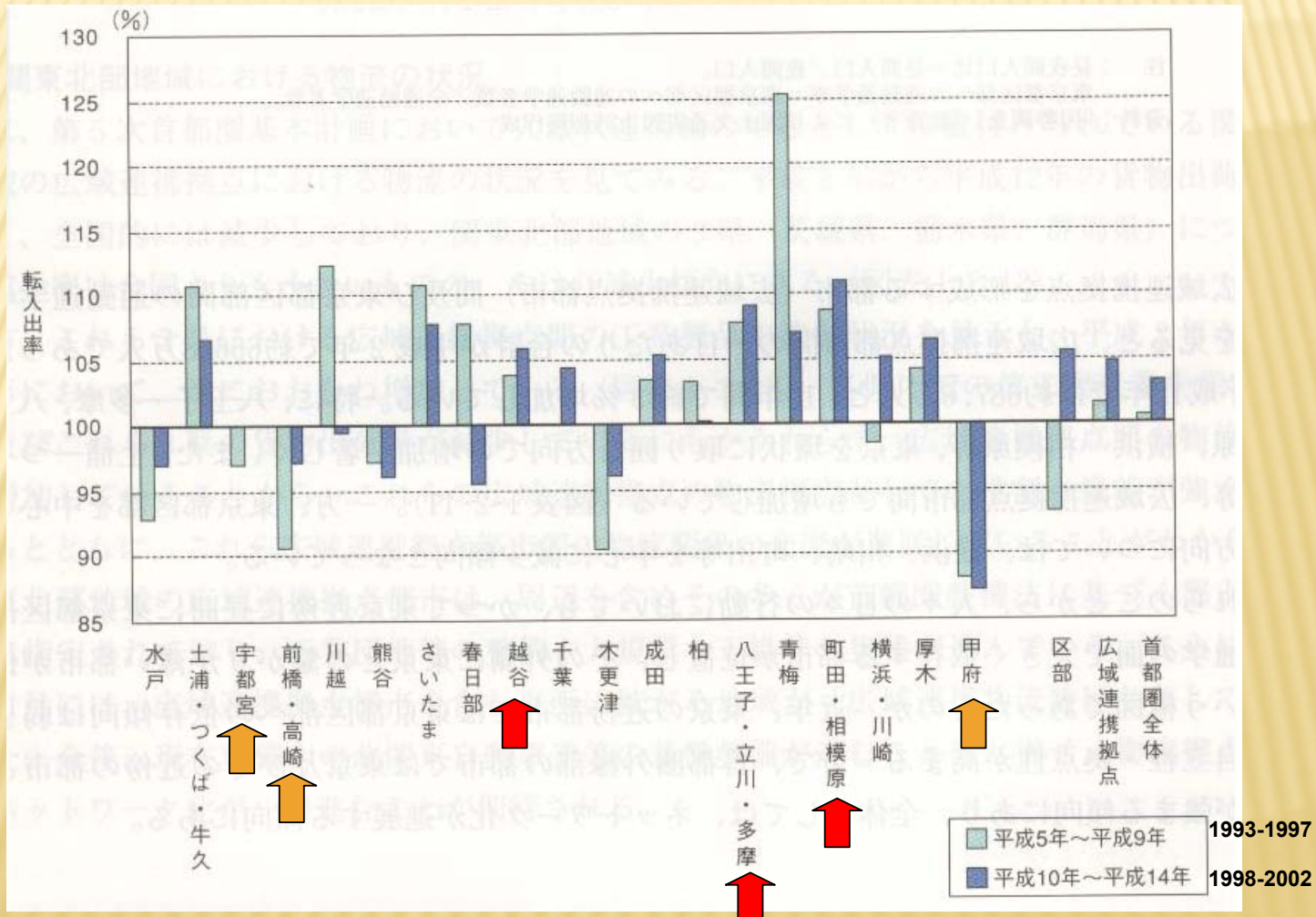
# 第5次 首都圏計画



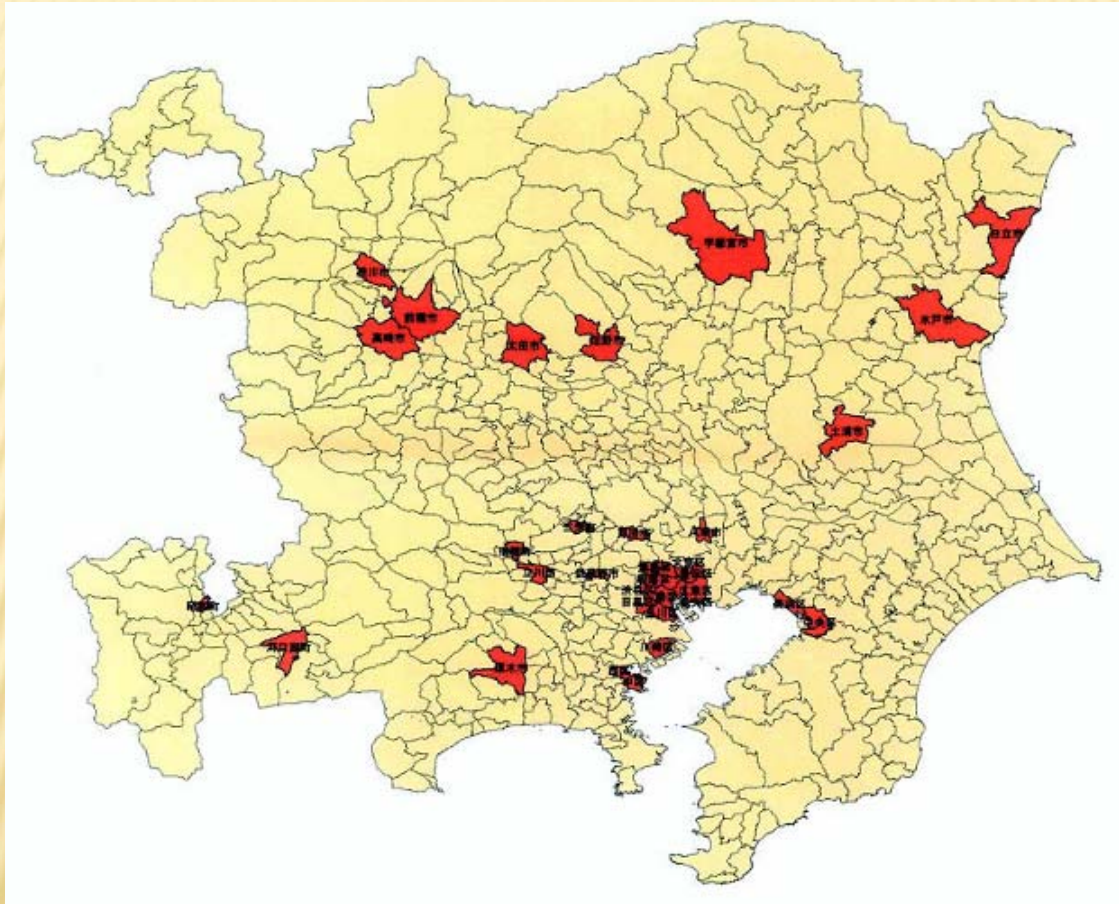
# 業務核都市（第5次首都圏基本計画）



# 広域連携拠点人口転出入率（1993-2002）

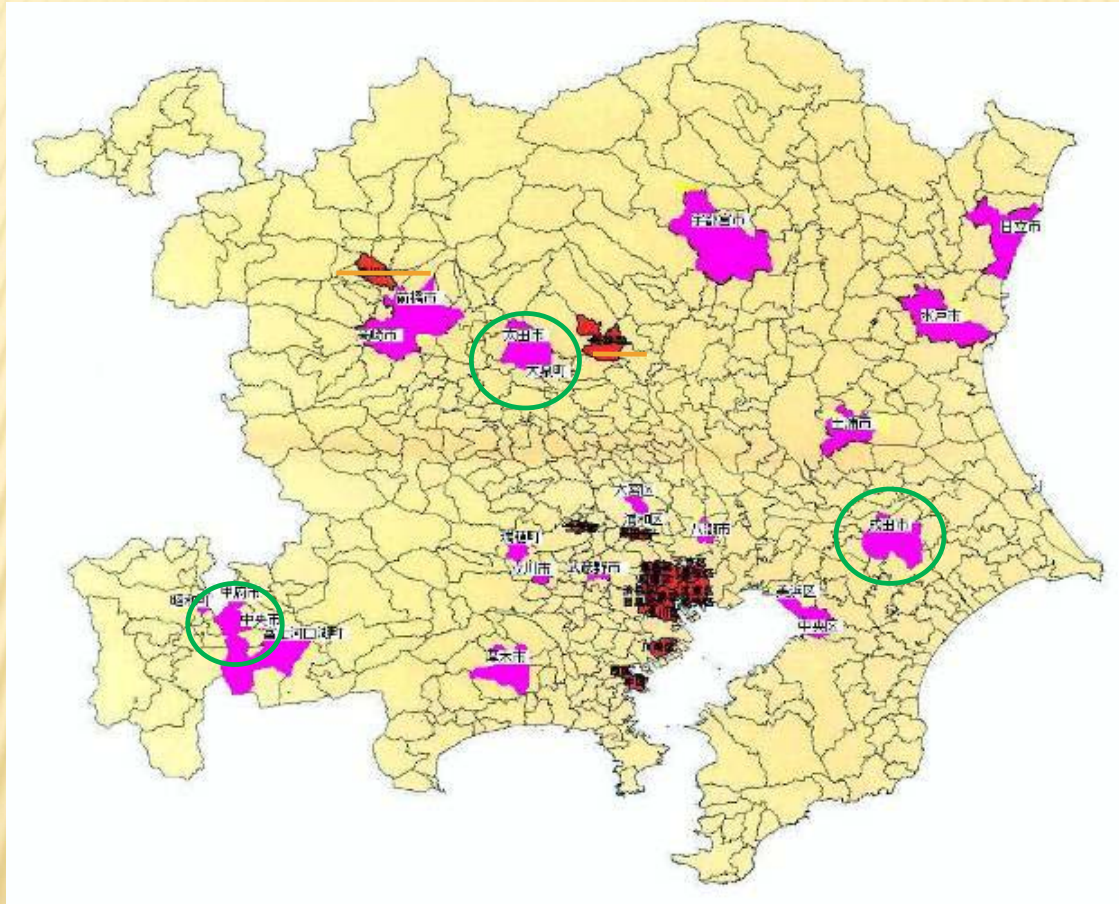


# 自立性の高い都市(2000年)



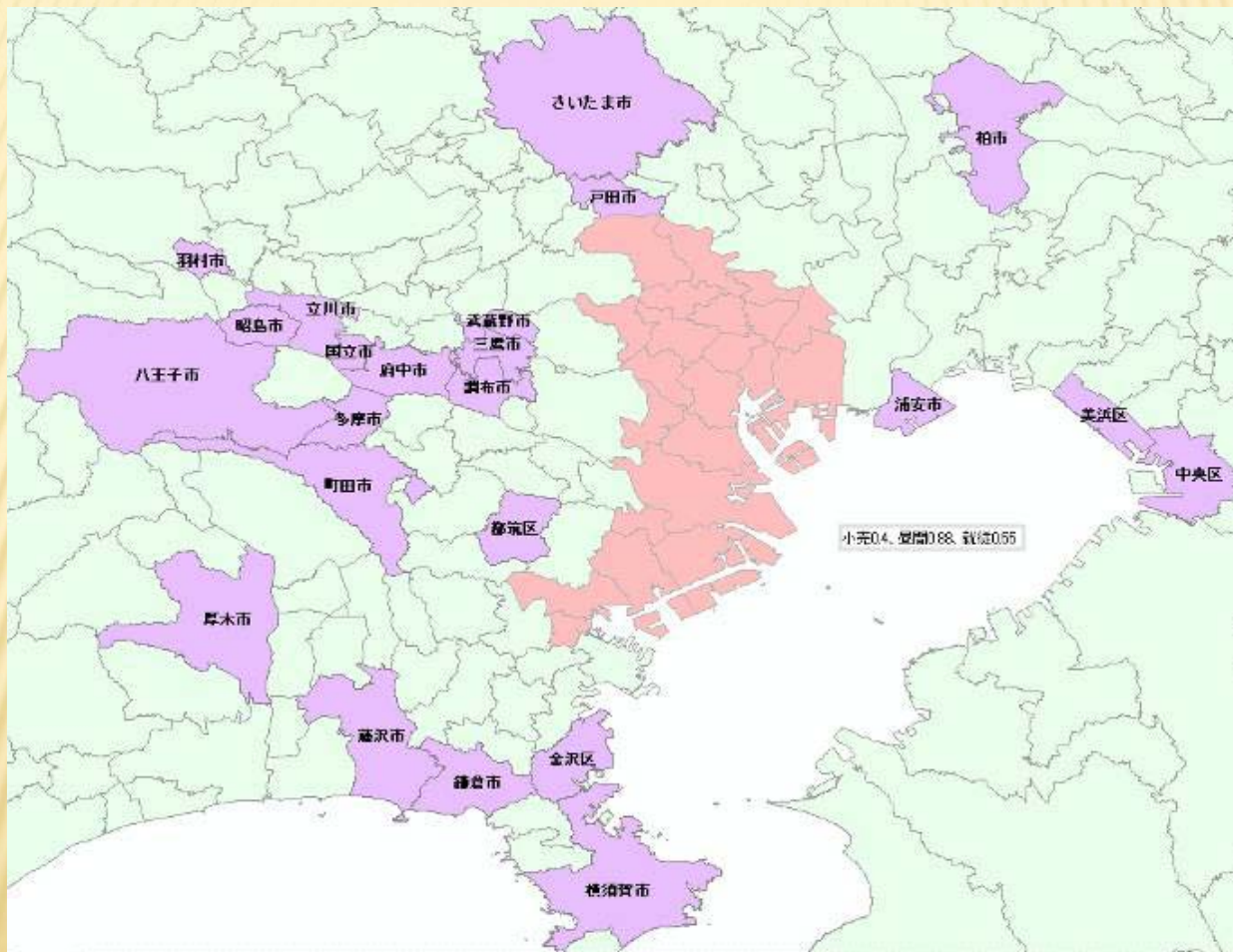
昼夜間人口比1.0以上、従就比1.0以上、小売面積／可住地面積0.16以上

# 自立性の高い都市(2005年)



昼夜間人口比1.0以上、従就比1.0以上、小売面積／可住地面積0.16以上

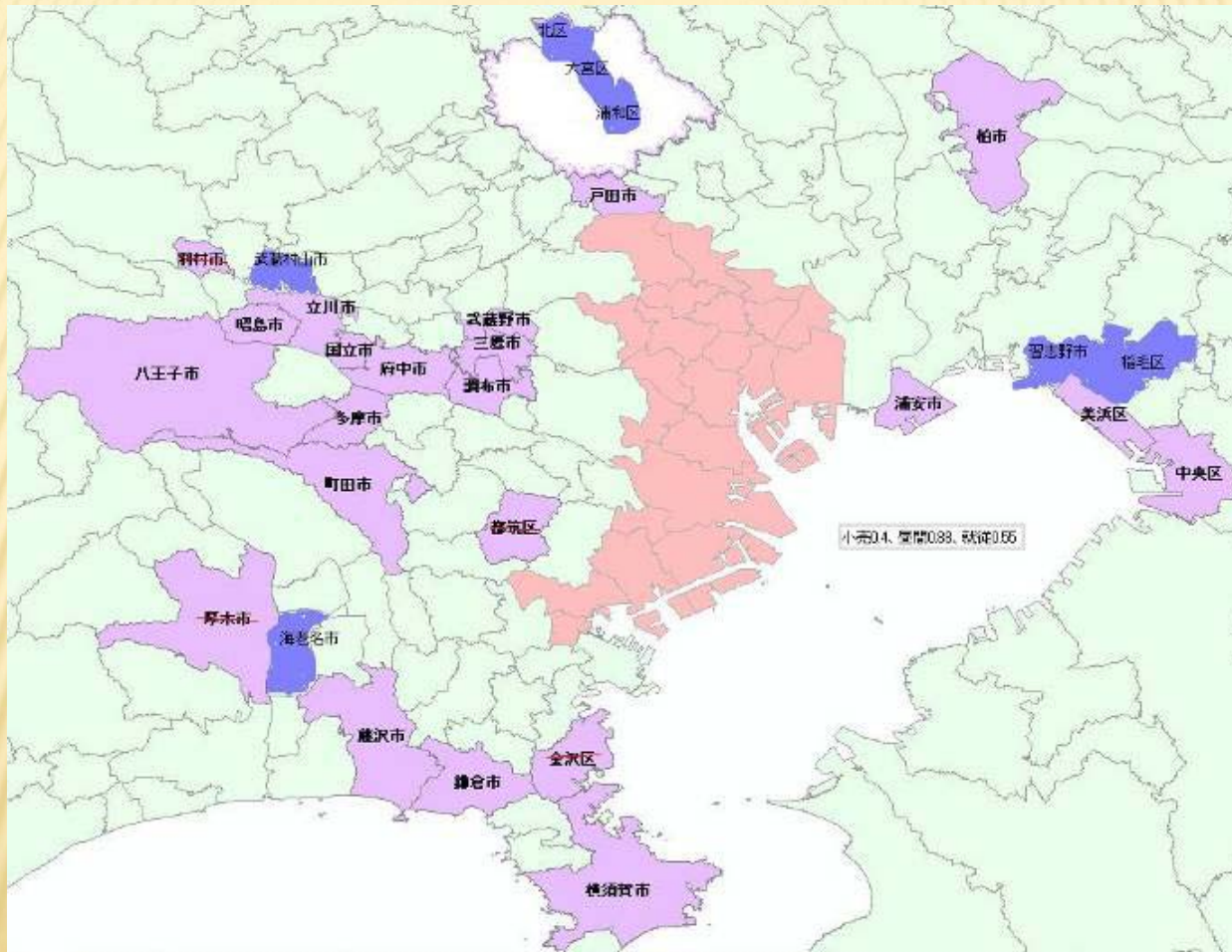
# 日本版エッジシティ(2000年)



昼夜間人口比0.88以上、従就比0.55以上、小売面積/可住地面積0.4以上



# 日本版エッジシティー2005年

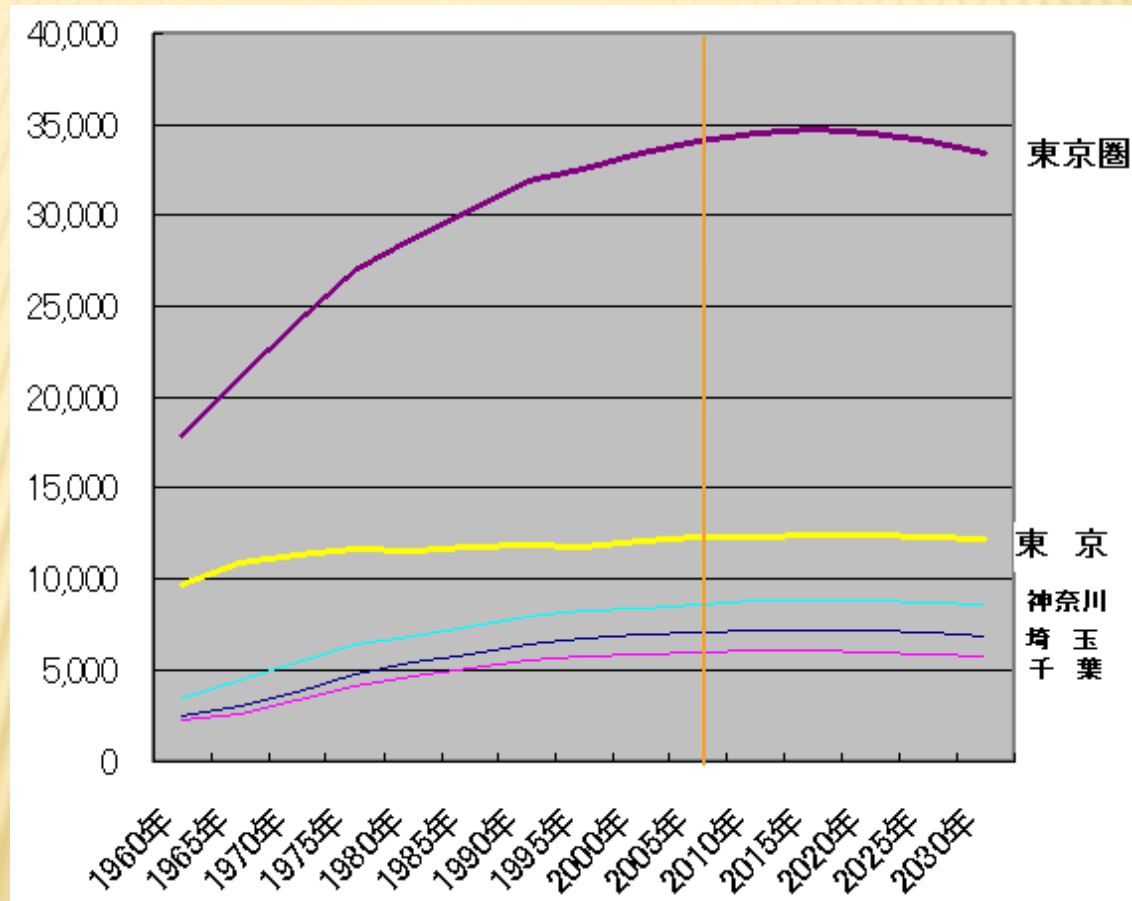


昼夜間人口比0.88以上、従就比0.55以上、小売面積／可住地面積0.4以上

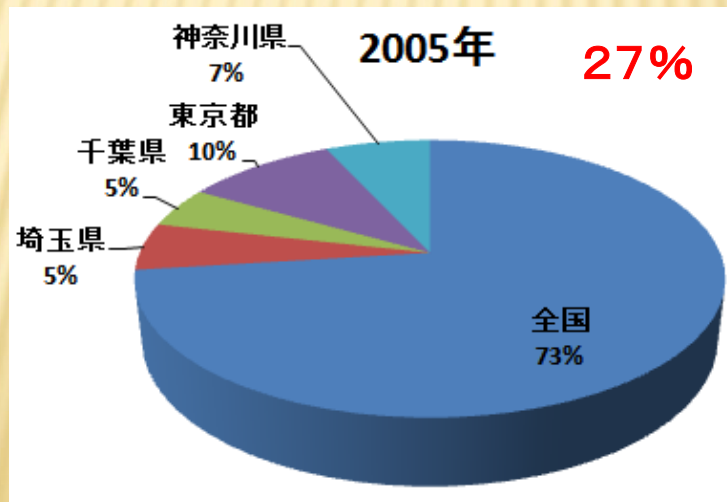
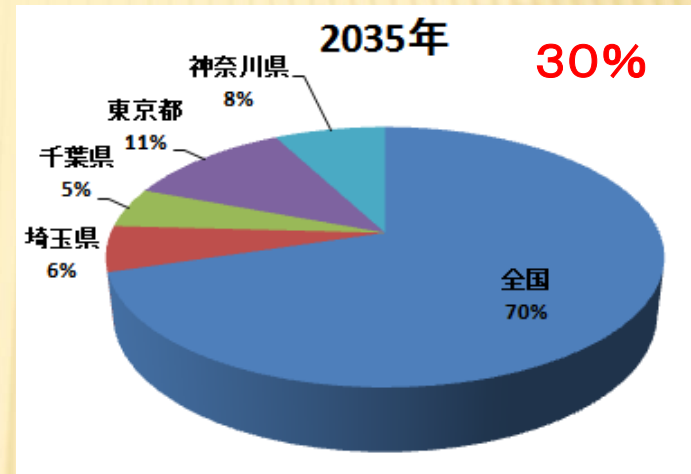
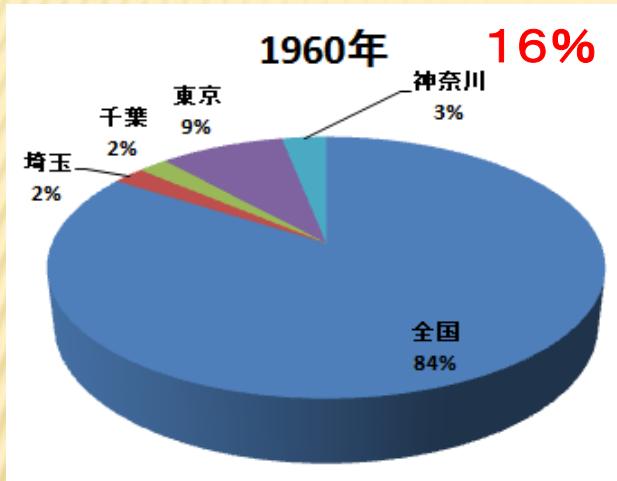
---

# 都市圏の収縮と都心回帰 — 都心空間更新の必要性 —

# 東京圏の人口推移（1960—2030）

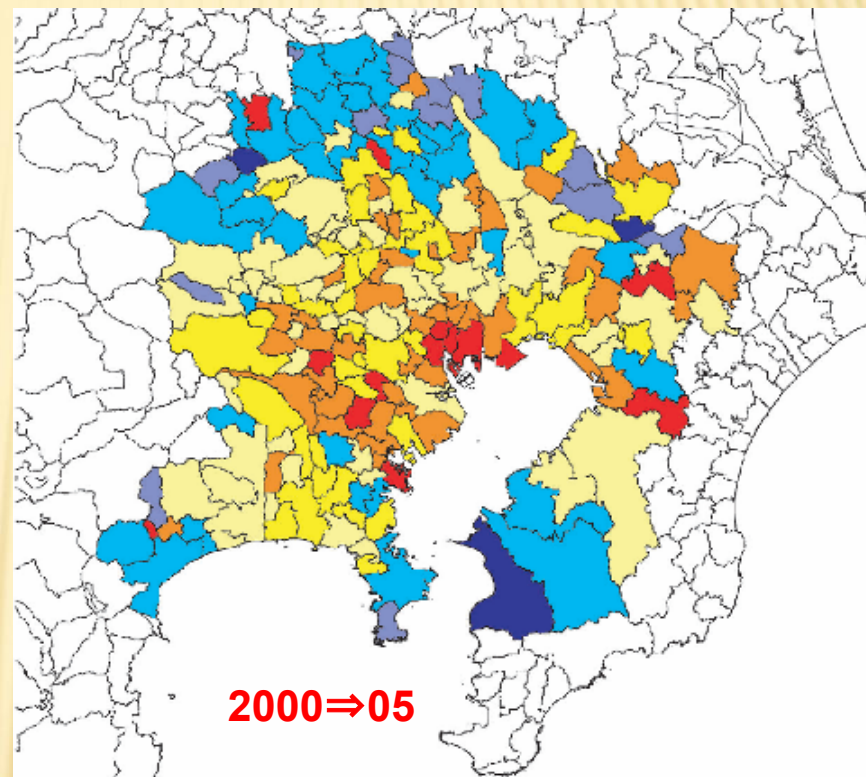
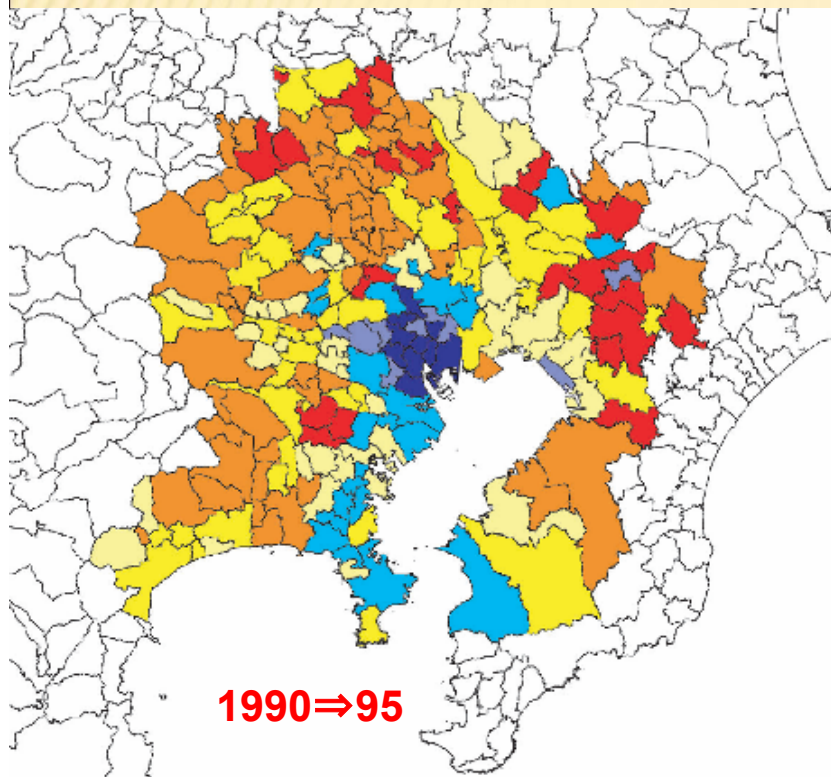


# 東京圏人口シェア（1960-2005-2035）



(国立人口問題研究所)

# 近郊整備地帯内人口増減（1990-2005）

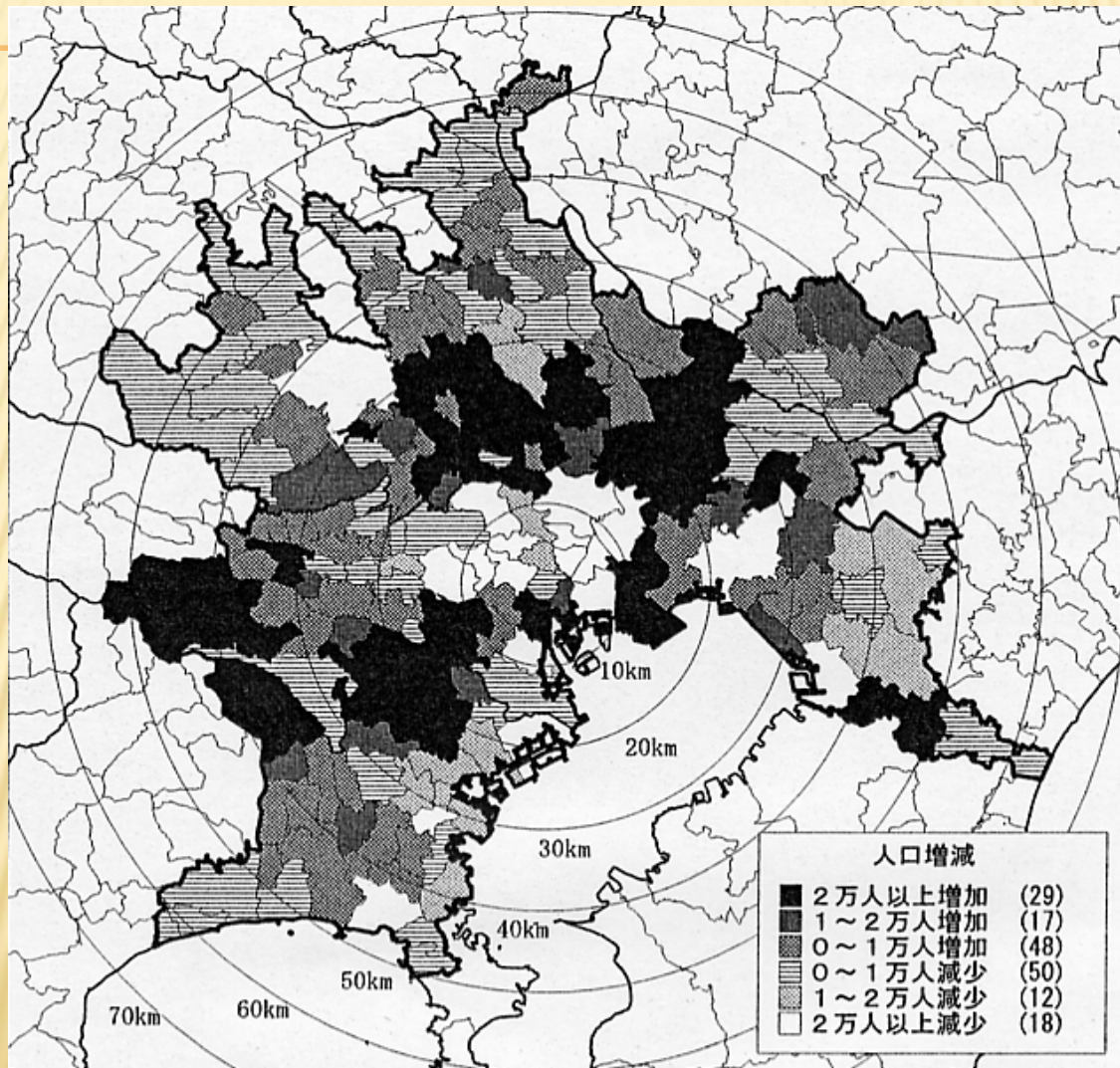


年平均人口変化率

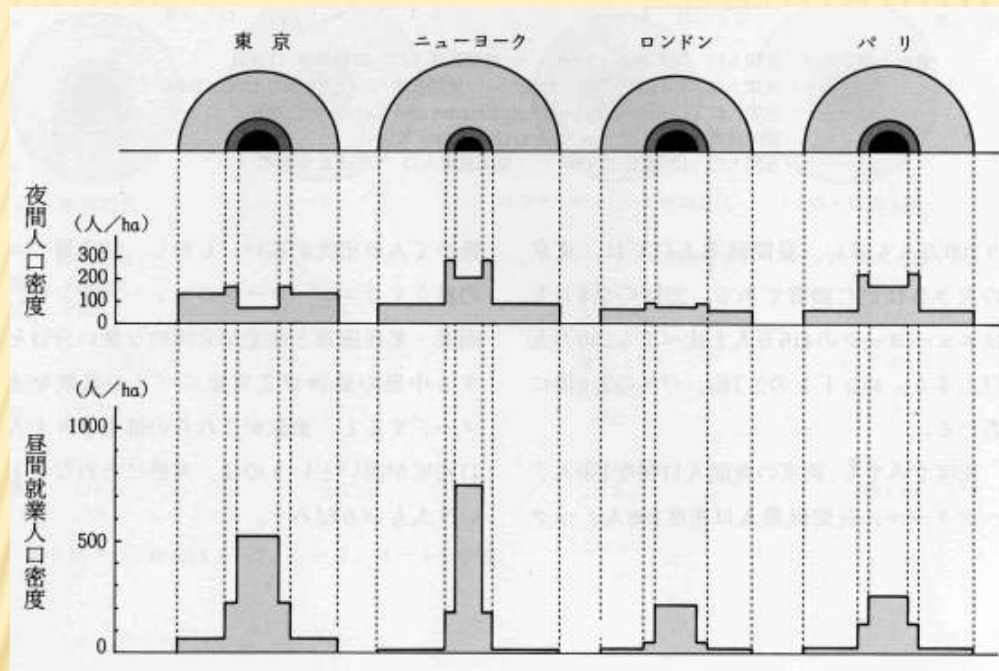


(首都圏白書)

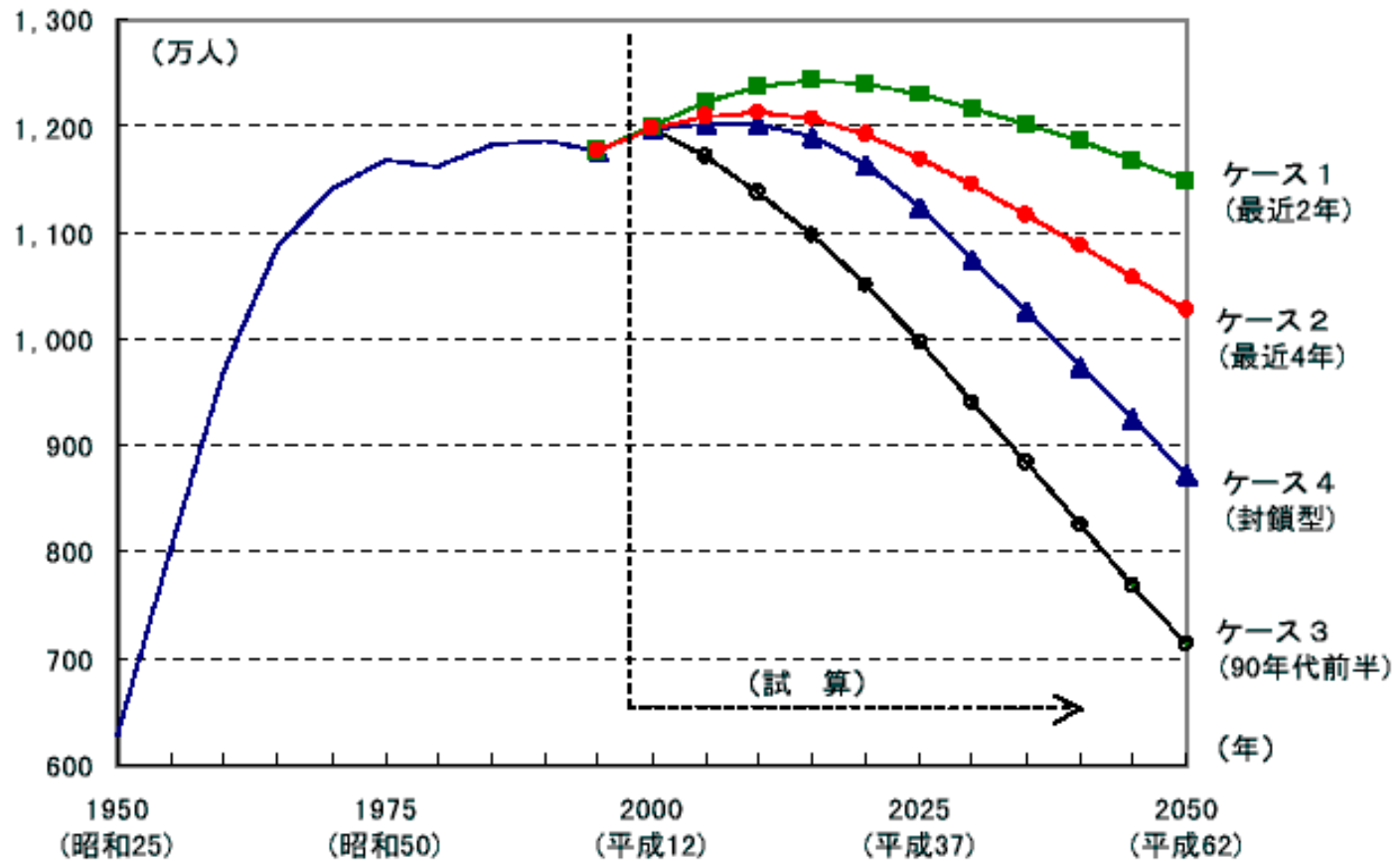
# 人口増減（1995-2025）



# 4大都市の都心人口 (1990年)

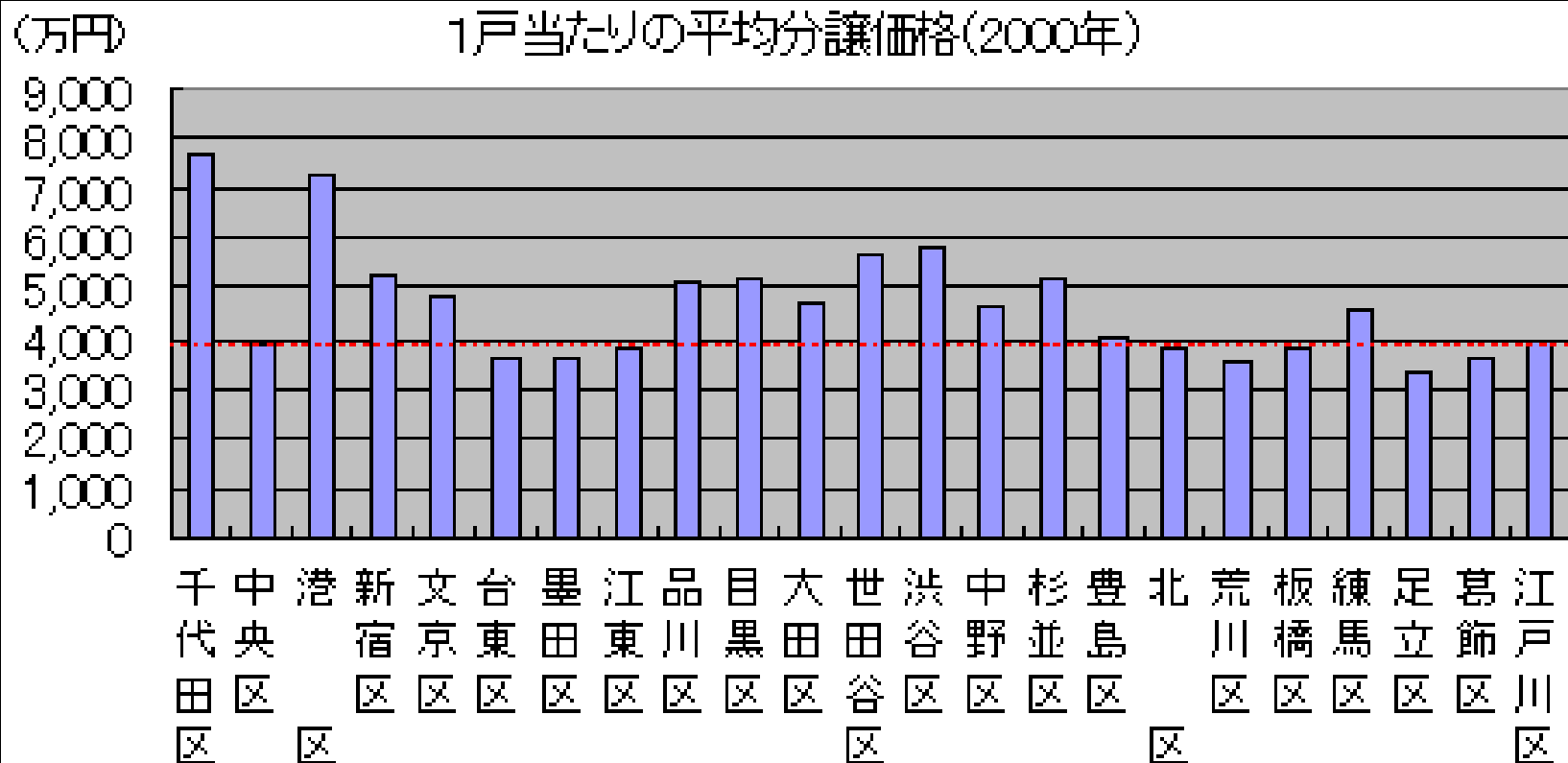


# 人口の推移（2000年当時と現在）

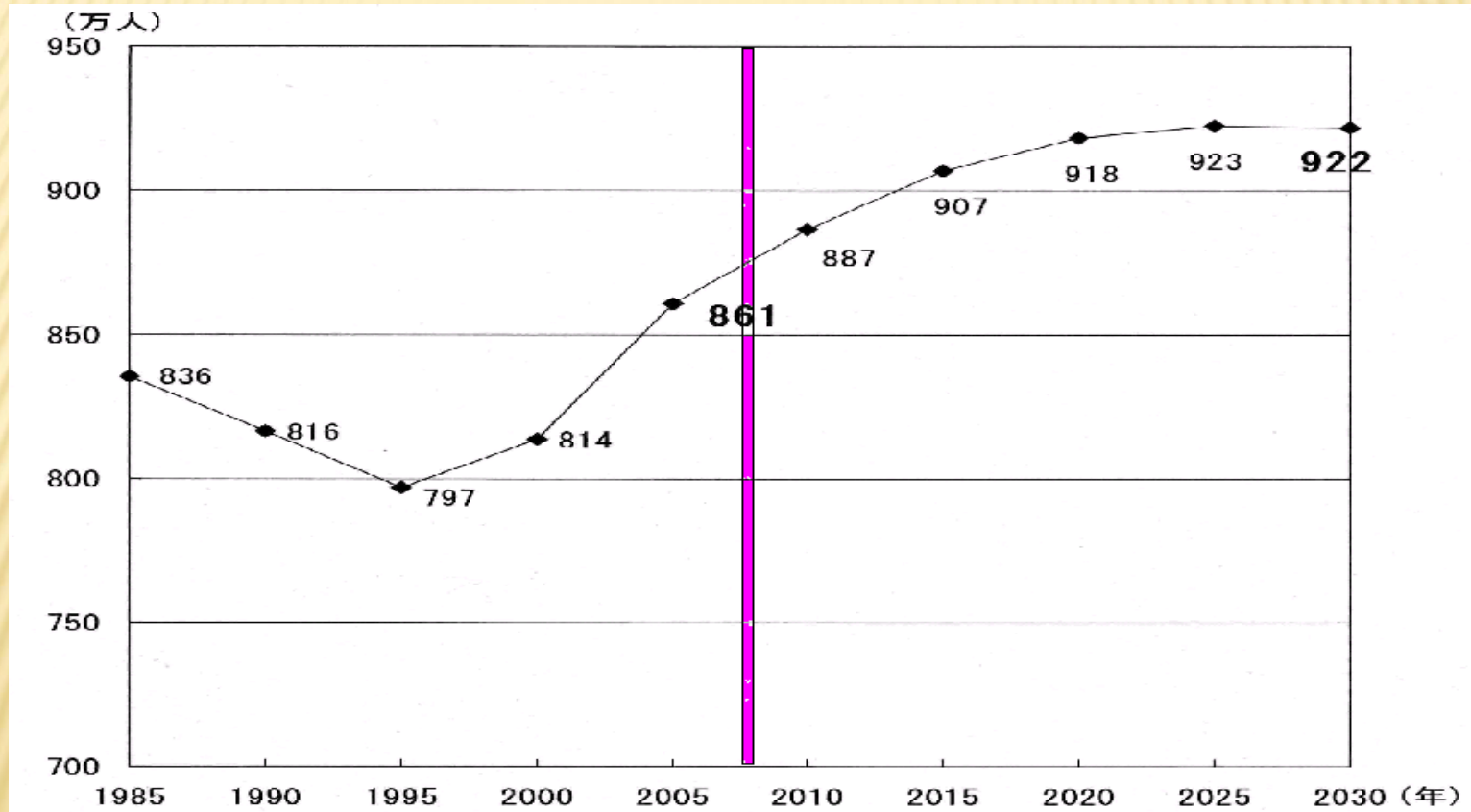




# 住宅分譲価格と年収5倍線



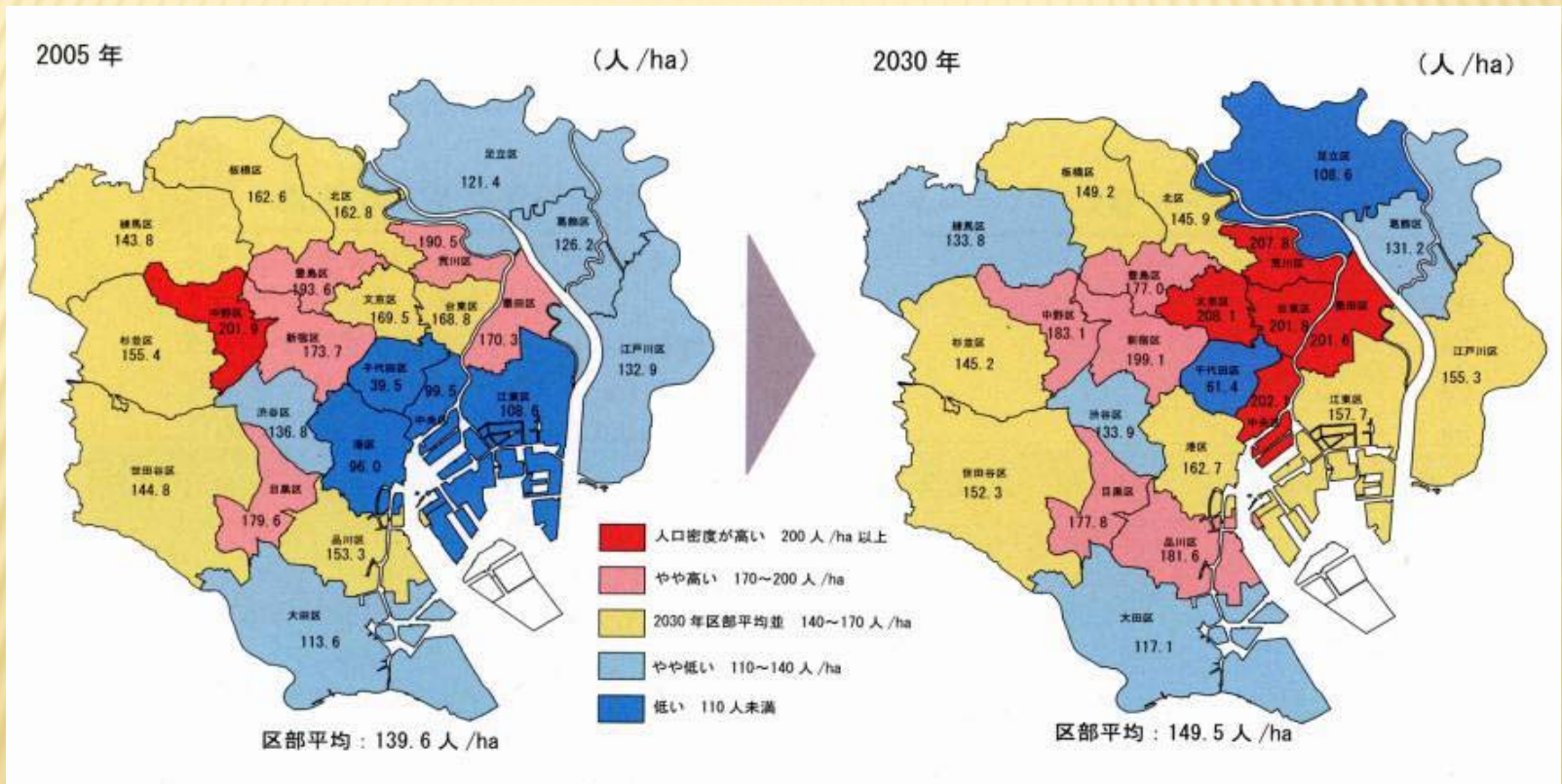
# 区部人口推移予測



注)日本人は、国立人間研データをベースにコーホート要因法、外国人は登録人口の増減により予測

(2030年の東京~趨勢予測による姿~)

# 2030年の都心居住人口

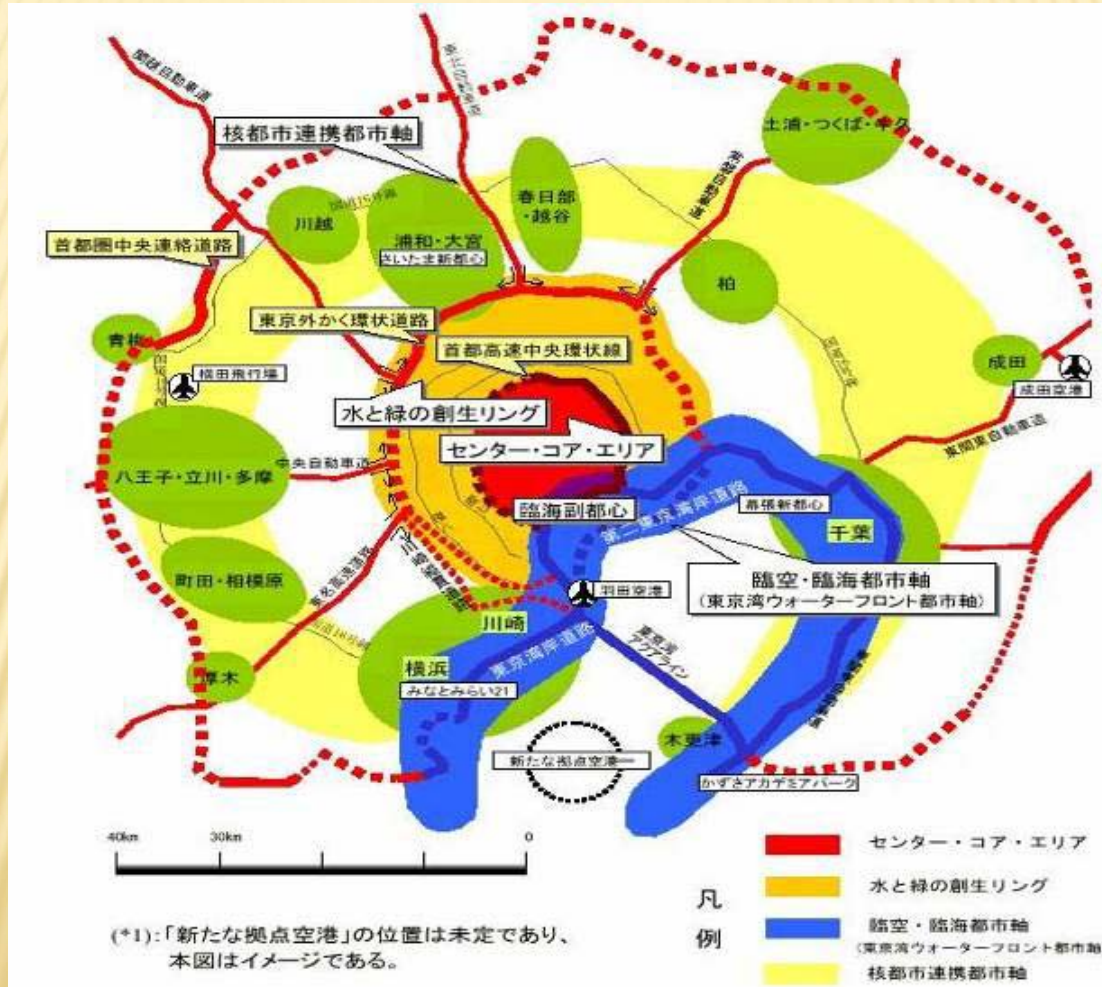


(2030年の東京~趨勢予測による姿~)

---

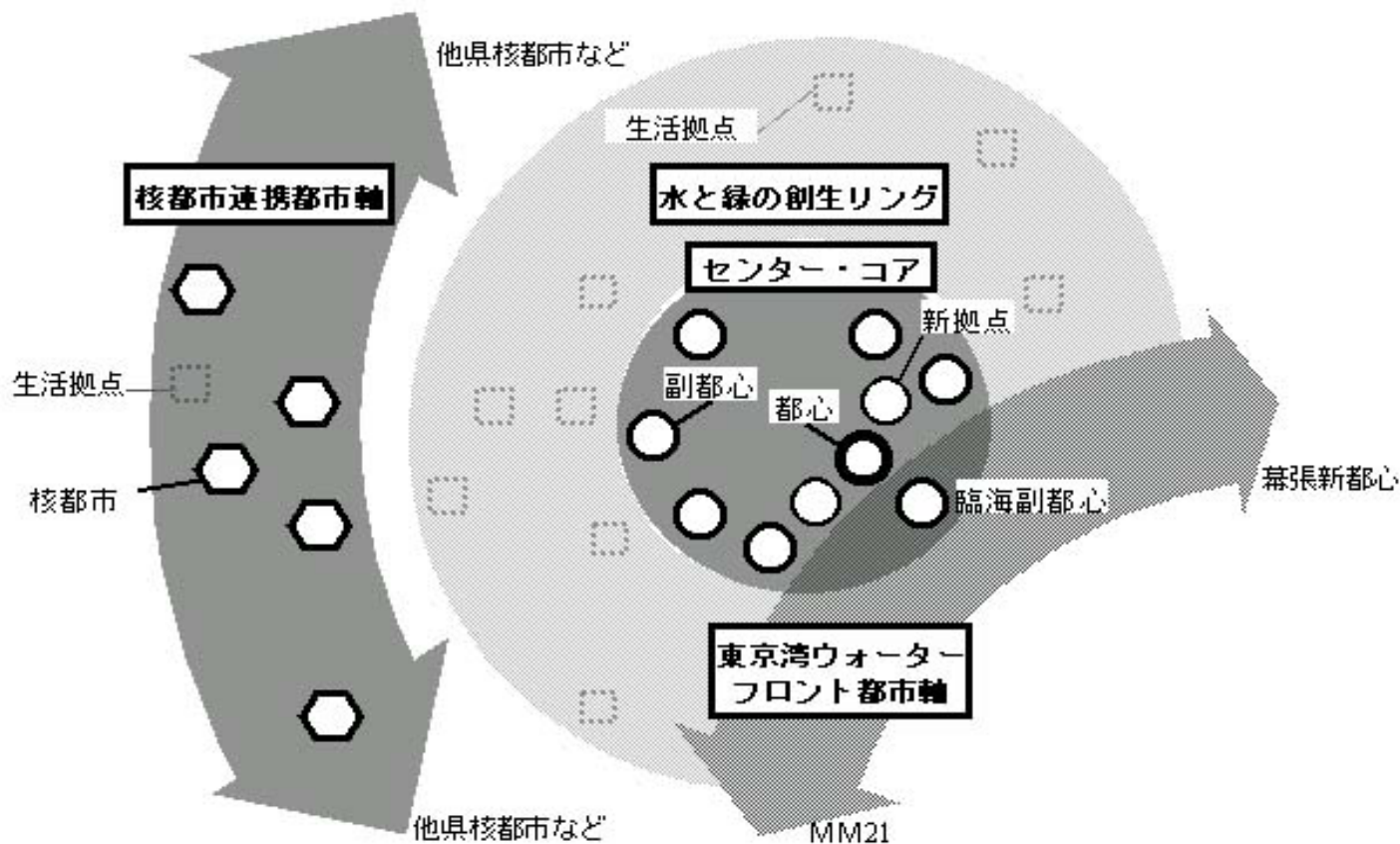
# 東京の都市構造の組み換え ーコンパクト化された大都市 モデルー

# 首都圏メガロポリス構想



(東京都資料)

# 新しい拠点群の概念



生活拠点：中核拠点とは異なる生活圏レベルの拠点。  
本図の位置や数は固定的なものではなく、  
イメージを示す。

中核拠点：東京圏の骨格的都市構造に位置  
づけられる都心、副都心、新拠点、  
核都市。

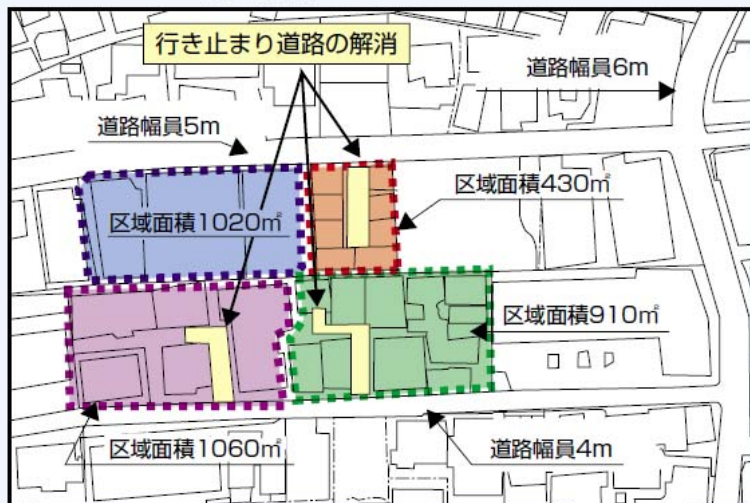
# しやれた街並みづくり推進条例

(2003年)

## 街区再編まちづくり制度

地域の皆さんの協力により、都市計画に基づく規制緩和などを活用しながら、話し合いがまとまったところから段階的に整備を行うことにより、個性豊かで魅力のある街並みを実現していく制度です。

街区再編まちづくりのイメージ



街区再編まちづくりの方針が定められた区域では

- 小規模な単位で
- 合意形成のできた地区ごとに
- 地権者自らがまちづくりを進めるための都市計画を提案し
- 容積率や斜線制限などの緩和や課税特例（再開発事業の場合）を受け
- 共同建て替えなどのまちづくりを進めることができます。

・道路が狭いため容積率が使い切れない。  
(幅員4mの場合、300%指定→160%)  
・斜線制限により、斜めの壁など景観を損ねる街並みができてしまう。

地域ルールに適合する場合

- ・地域の実情に即して容積率や斜線制限等を緩和
- ・一定規模の建築物の接道条件（幅員等）を緩和

(東京都資料)

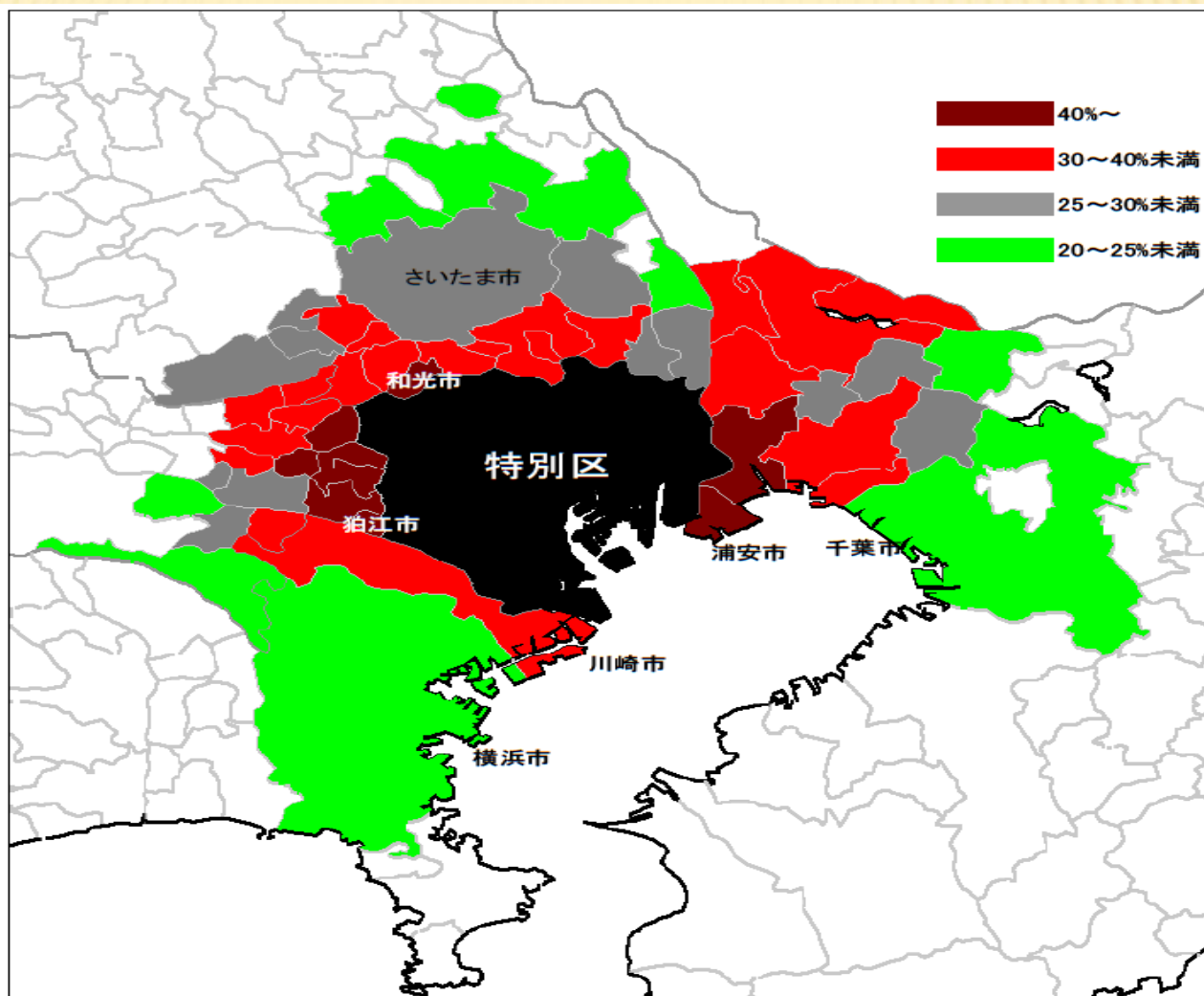
---

# 道州制と東京の存在

—大都市経営政策の視点が不可欠—



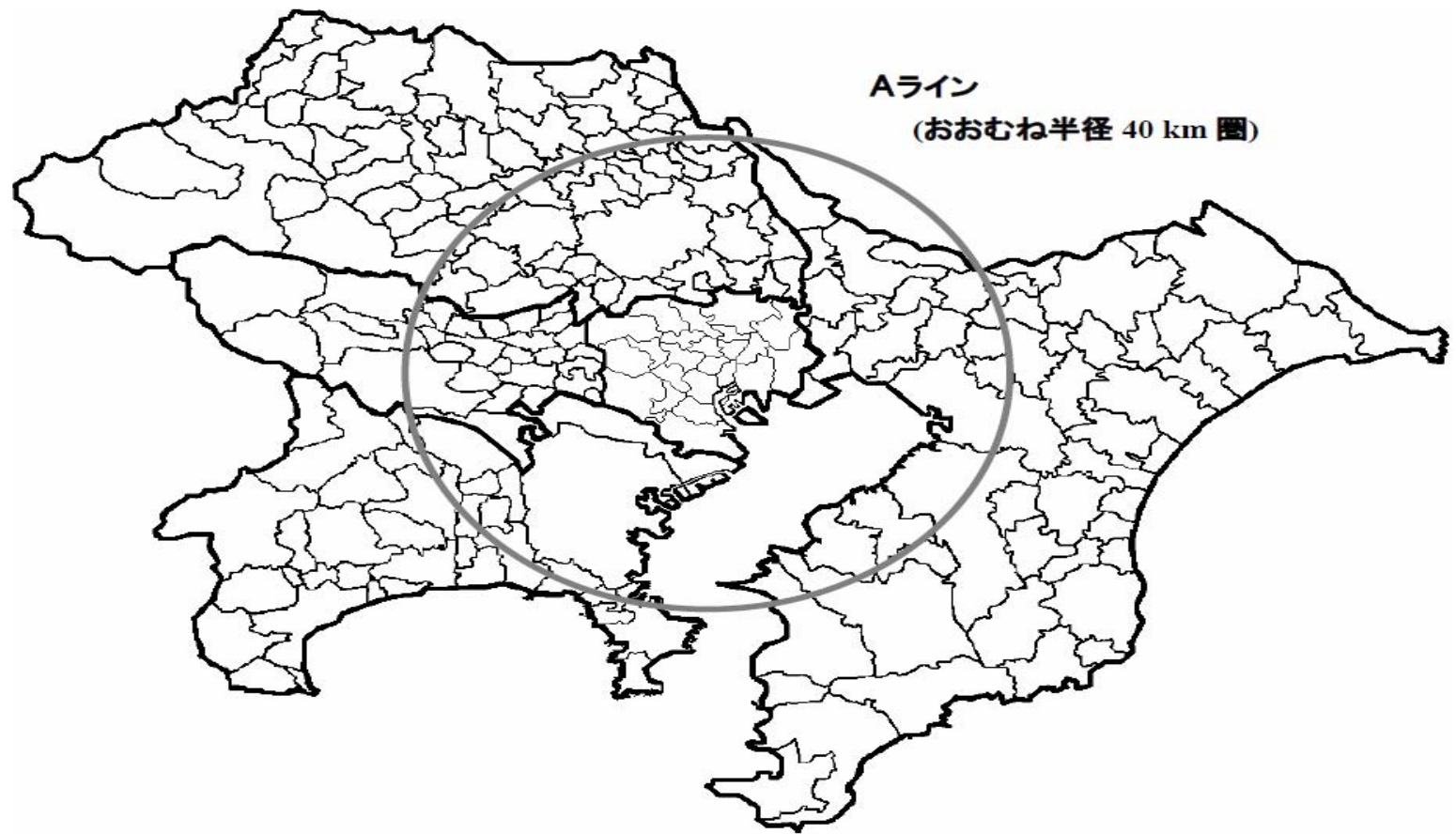
# 通勤・通学者の移動状況



※「平成17年国勢調査」「統計でみる市区町村のすがた2006」(総務省)より作成

(東京自治制度懇談会資料)

# 広域での圏域設定



(東京自治制度懇談会資料)

# 東京の高度集積連たん区域



(東京自治制度懇談会資料)

# 道州制が必要な理由

地方分権の実現

地域の自立

国際競争力  
東京

大きな政府の  
弊害

地方の衰退



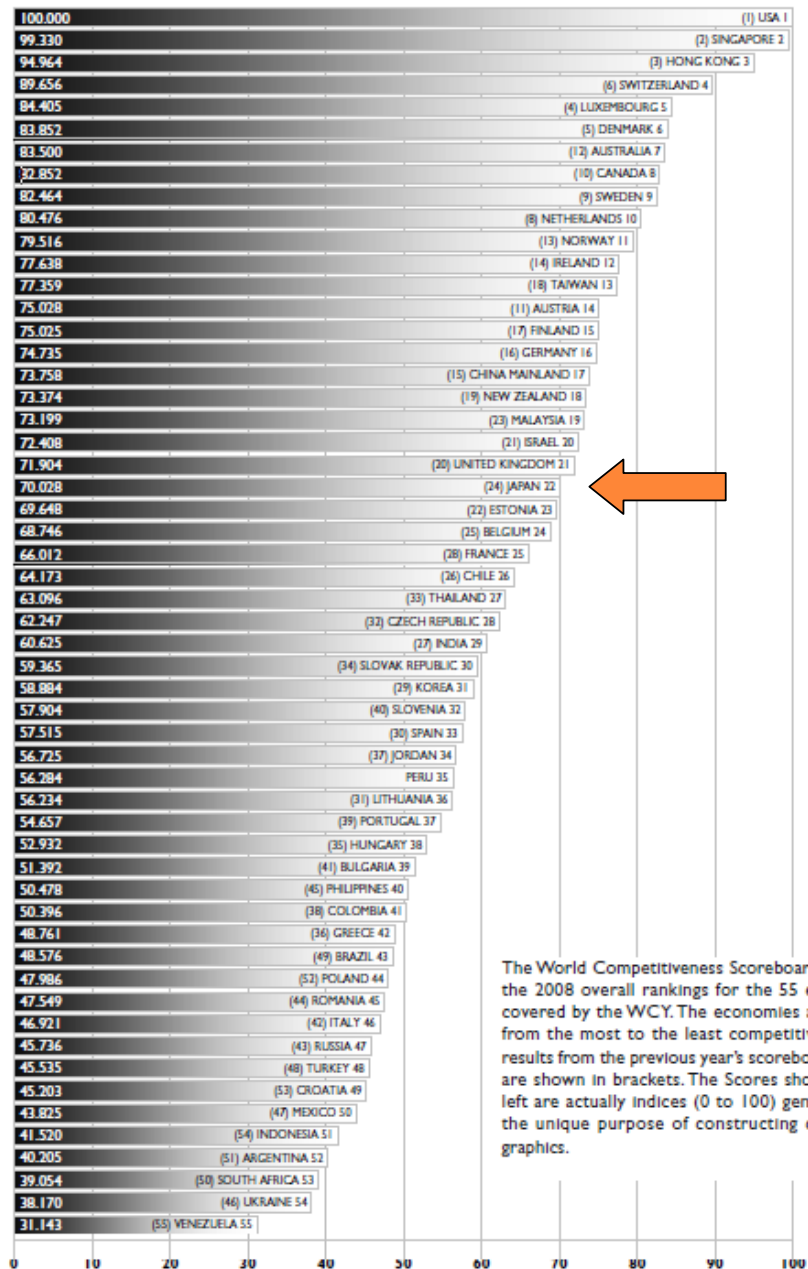
# 首都機能移転の効果

- × **一極集中の是正** ⇒ 効果は2%のみ
  - × **国政全般の改革** ⇒ 制度改革担保なし
  - × **災害対応力の強化** ⇒ 候補地は活断層の巢
- ＜実はさらに＞
- × **景気誘発効果** ⇒ 非移転地はマイナス
  - × **均衡ある発展政策** ⇒ 移転先は首都に近い
  - × **国民の士気高揚** ⇒ 大規模公共事業批判

(上記の3つは国会等移転調査会報告)

# 遅れをとる国際競争力ー 大都市存在の重要性

## IMD WORLD COMPETITIVENESS 2008



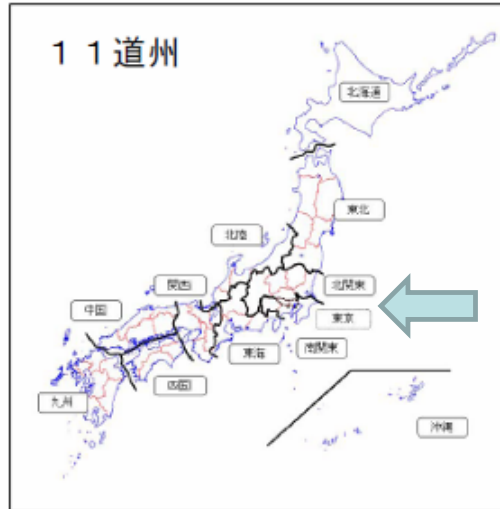
The World Competitiveness Scoreboard presents the 2008 overall rankings for the 55 economies covered by the WCY. The economies are ranked from the most to the least competitive and the results from the previous year's scoreboard (2007) are shown in brackets. The Scores shown to the left are actually indices (0 to 100) generated for the unique purpose of constructing charts and graphics.

# 道州の区割り例

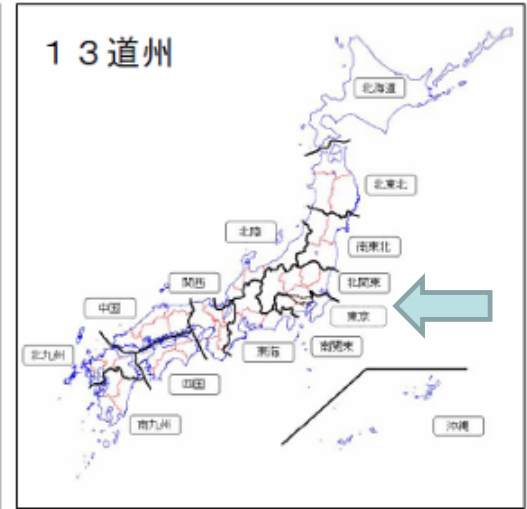
【区域例－1】



【区域例－2】



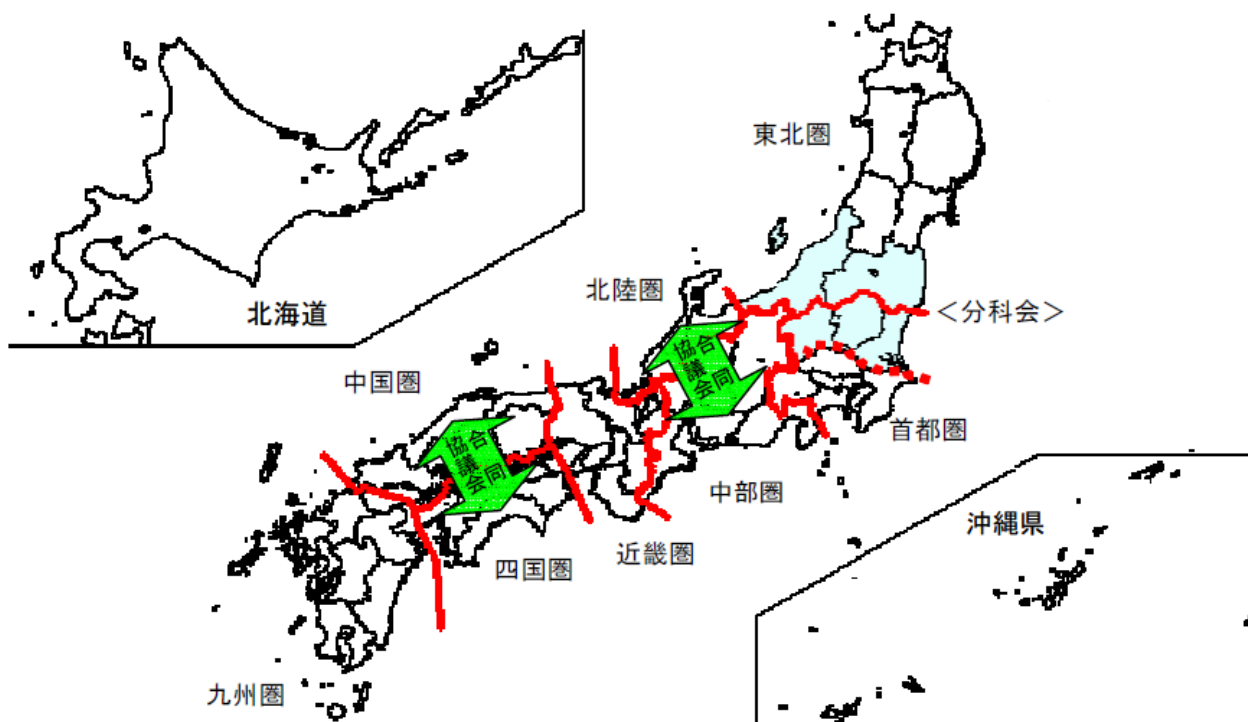
【区域例－3】



気になる均衡ある財政バランス論

(地方制度調査会資料)

# 国土形成計画(ブロック割)



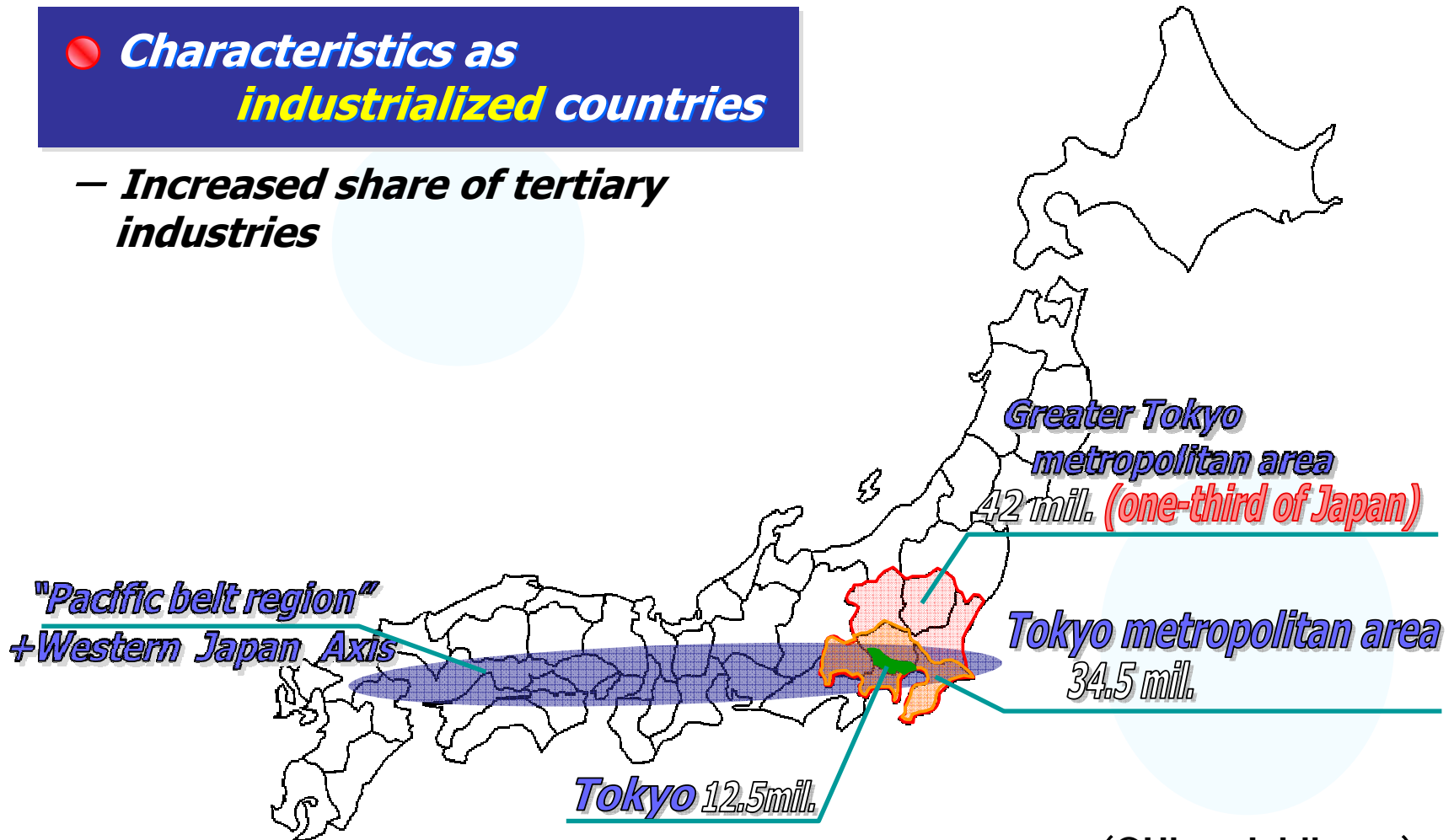
(国土交通省資料)



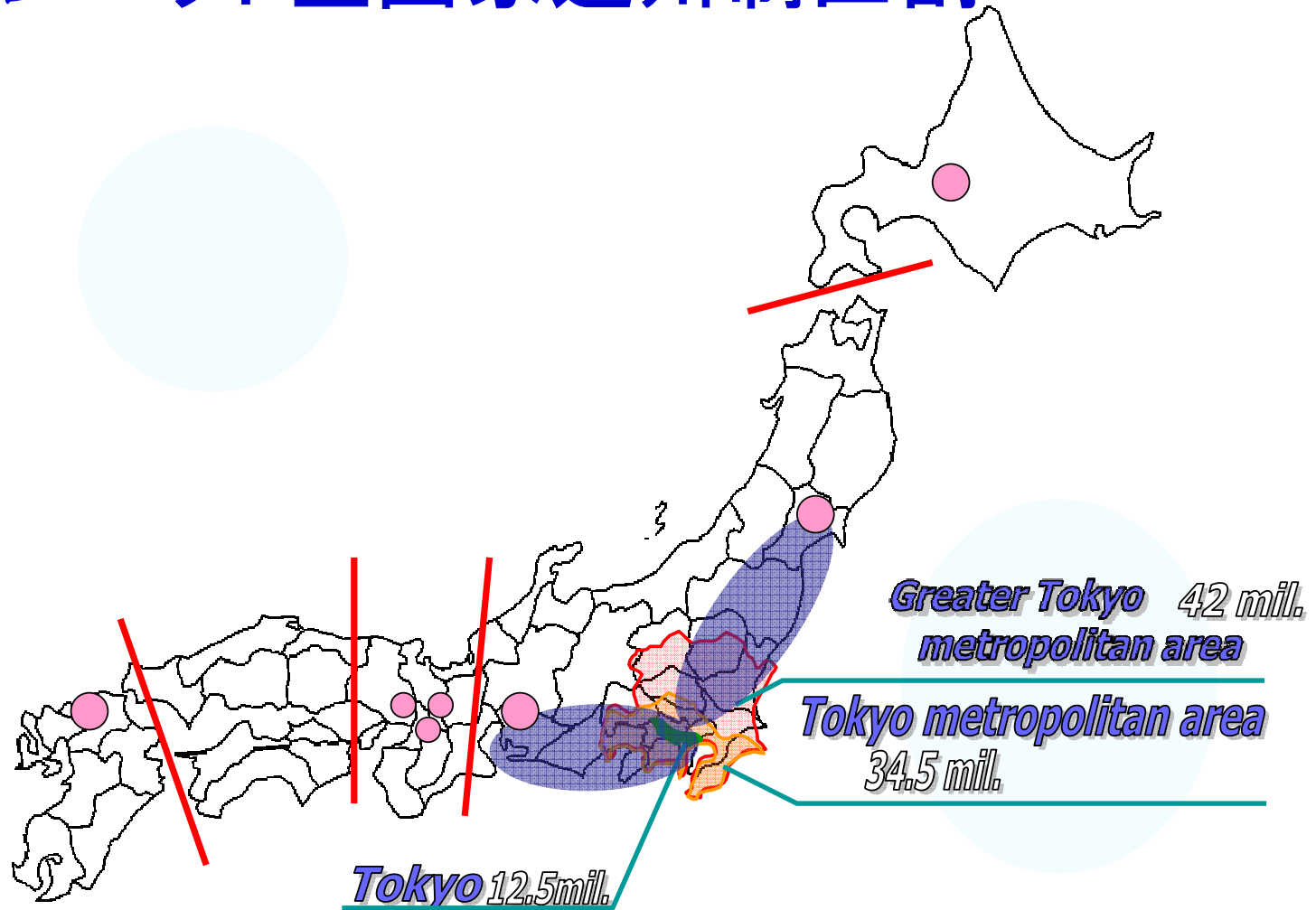
# 大都市への集中パターンと開発軸

## ● Characteristics as industrialized countries

- Increased share of tertiary industries



# コンパクト型国家道州制区割



---

国際競争力をもった

東京の構築

—グランドデザインと重点政策—

# GaWC (Globalization and World City) による世界都市ランク

## (1) 規模性

分野	項目	順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
経済的 グローバリゼーション	ビジネス・サービス	ロンドン	ニューヨーク	香港	東京	パリ
	多国籍企業本社	東京	ニューヨーク	パリ	ロンドン	デュッセルドルフ
	会計	ロンドン	ニューヨーク	シカゴ	パリ	トロント
	広告	ニューヨーク	ロンドン	香港	アムステルダム	東京
	金融	ロンドン	東京	ニューヨーク	香港	シンガポール
	保険	ロンドン	ニューヨーク	香港	シカゴ	シンガポール
	法律	ロンドン	ニューヨーク	ワシントン	香港	フランクフルト
	コンサルティング	ニューヨーク	ロンドン	パリ	ミラノ	ストックホルム
文化的 グローバリゼーション	メディア	ロンドン	LA	ニューヨーク	パリ	ベルリン
	建築・エンジニアリング	ロンドン	ニューヨーク	シンガポール	香港	ワシントン、シカゴ
政治的 グローバリゼーション	国連機関	ニューヨーク	ジュネーブ	バンコク	ワシントン	ブラッセル
	外交	ワシントン	ニューヨーク	東京	ロンドン	ベルリン
	自治体	マニラ	ローマ	バンコク		
社会的 グローバリゼーション	NGO	ロンドン	ワシントン	ジュネーブ	ナイロビ	ブラッセル
	共同研究	ロンドン	東京	サンフランシスコ	パリ	大阪

世界主要都市を、(1)経済的グローバリゼーション、(2)文化的グローバリゼーション、(3)政治的グローバリゼーション、(4)社会的グローバリゼーションの4分野について、(1)規模性及び(2)ネットワーク性から評価。

# GaWC (Globalization and World City) による世界都市ランク

## (2) ネットワーク性

分野	項目	順位				
		1位	2位	3位	4位	5位
経済的 グローバリゼーション	ビジネス・サービス	ロンドン	ニューヨーク	香港	パリ	東京
	多国籍企業本社	ニューヨーク	ロンドン	パリ	東京	LA
	会計	ロンドン	ニューヨーク	パリ	LA	トロント
	広告	ニューヨーク	ロンドン	香港	トロント	シドニー
	金融	ロンドン	ニューヨーク	東京	香港	シンガポール
	保険	ロンドン	ニューヨーク	香港	LA	パリ
	法律	ロンドン	ニューヨーク	フランクフルト	香港	ワシントン
	コンサルティング	ニューヨーク	ロンドン	パリ	マドリッド	ストックホルム
文化的 グローバリゼーション	メディア	ロンドン	ニューヨーク	パリ	LA	ミラノ
	建築・エンジニアリング	ロンドン	ニューヨーク	北京	シンガポール	上海
政治的 グローバリゼーション	国連機関	ジュネーブ	ブラッセル	アディスアベバ	カイロ	バンコク
	外交	ワシントン	ニューヨーク	ロンドン	東京	パリ
	自治体	ローマ	リヨン	バルセロナ		
社会的 グローバリゼーション	NGO	ナイロビ	ブラッセル	バンコク	ロンドン	ニューデリー
	共同研究	ロンドン	LA	サンフランシスコ	ボストン	

世界主要都市を、(1)経済的グローバリゼーション、(2)文化的グローバリゼーション、(3)政治的グローバリゼーション、(4)社会的グローバリゼーションの4分野について、(1)規模性及び(2)ネットワーク性から評価。

文化を育む基盤・環境

国際競争力をもった東京の構築  
ーグローバル フロントランナー

文化の成熟

文化が成熟した都心には、海外から多くの人々が訪れ・滞在し、『文化交流』を楽しむ

産業が創造される活力ある都心では、経済的・社会的に『文化へのサポート』が行なわれる

溢れる魅力

海外から多くの人々が訪れ・滞在する都心では、『異文化接触』により文化の成熟が進む

文化が成熟した都心では、『情報・文化・人材型産業』が創造される

国際的な接触・融合

産業が創造される活力ある都心には、『ビジネス交流』のために、多くの人々が訪れ・滞在する

産業の創造

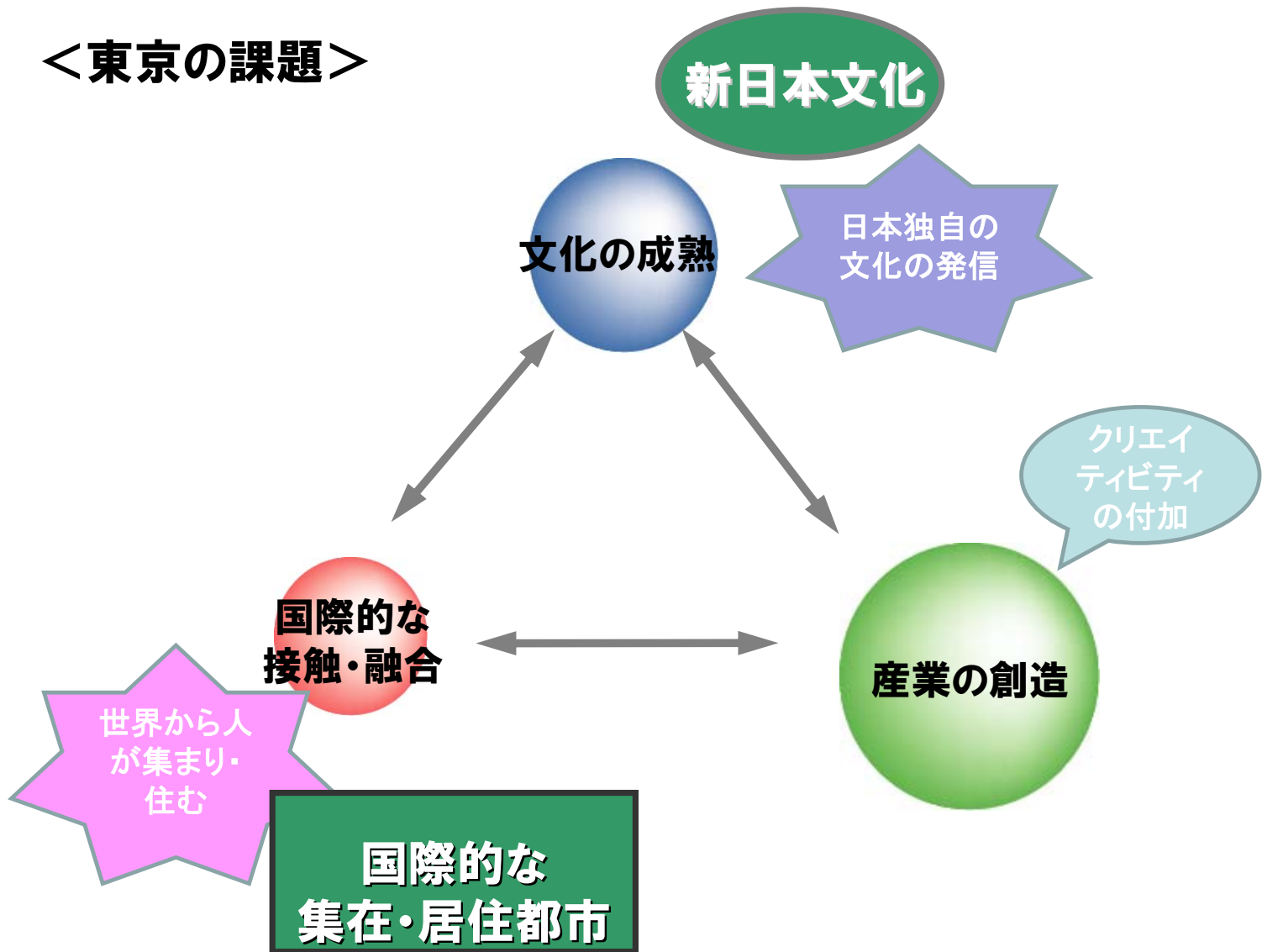
交流を促す基盤・環境

海外から多くの人々が訪れ・滞在する都心では国際交流に対応した『観光・交流型産業』が創造される

産業創造を促す基盤・環境

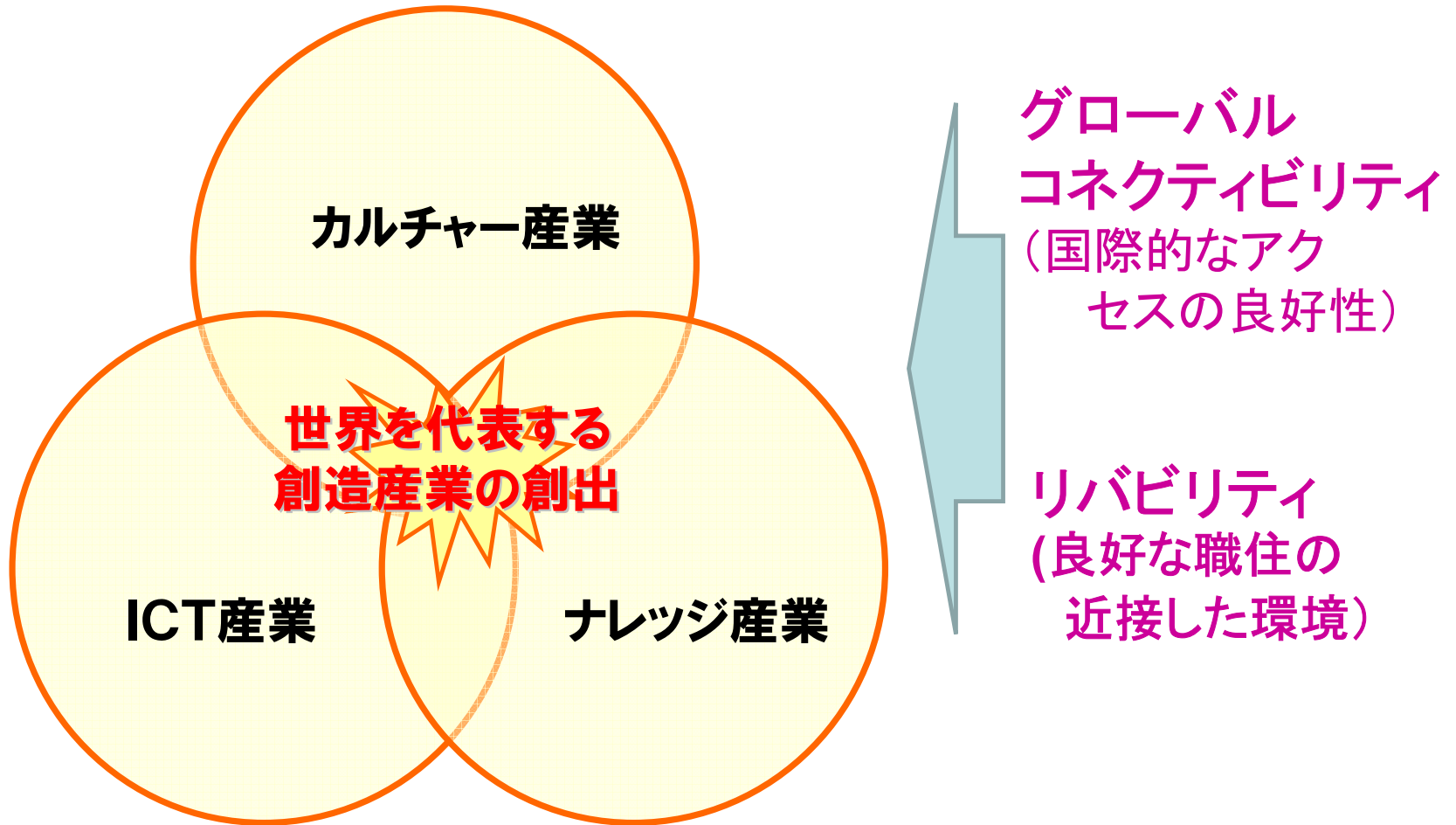
(『グローバルフロント東京』)

# <東京の課題>



(『グローバルフロント東京』)

# 産業の創造



(『グローバルフロント東京』)



# 創造産業の要としての国際金融都市



(『グローバルフロント東京』)

# 国際競争力をもった東京の実現

- × 東京のグランドデザイン作成
- × センターコアエリアの空間再編計画
- × 都市創成重点エリアの指定・強化

## ＜ベースとしての施策＞

- × 災害対応力の強化
- × 環境制約との整合
- × 高齢化社会への対応

# 東京のグランドデザインが<絵に描いたもち> にならないための制度設計とは

## ×「選択と集中」の方針を国がリードすべき

- ・(選択) 都市創成重点エリアの指定
- ・(集中) センターコアエリアの空間再編

ex. 地上・地下の高度利用(高容積化)と

まとまったオープンスペースの創出

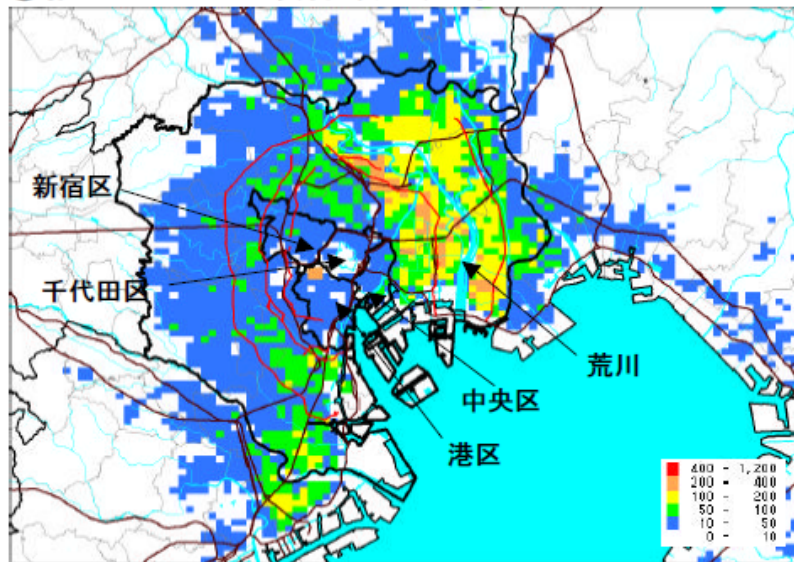
ex. 整備運営計画を住民の2/3以上の合意で

都道府県が都市計画決定

# 全壊棟数分布と焼失棟数分布の比較

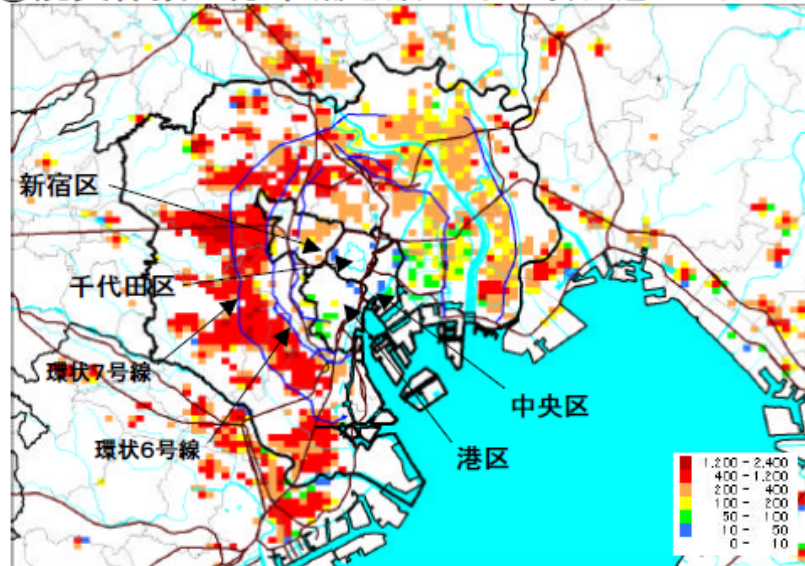
(東京湾北部地震M7.3)

①揺れによる全壊棟数の分布(都心部)



- ◆ 都県域を超えた広域的な被害
- ◆ 荒川沿いの全壊が顕著

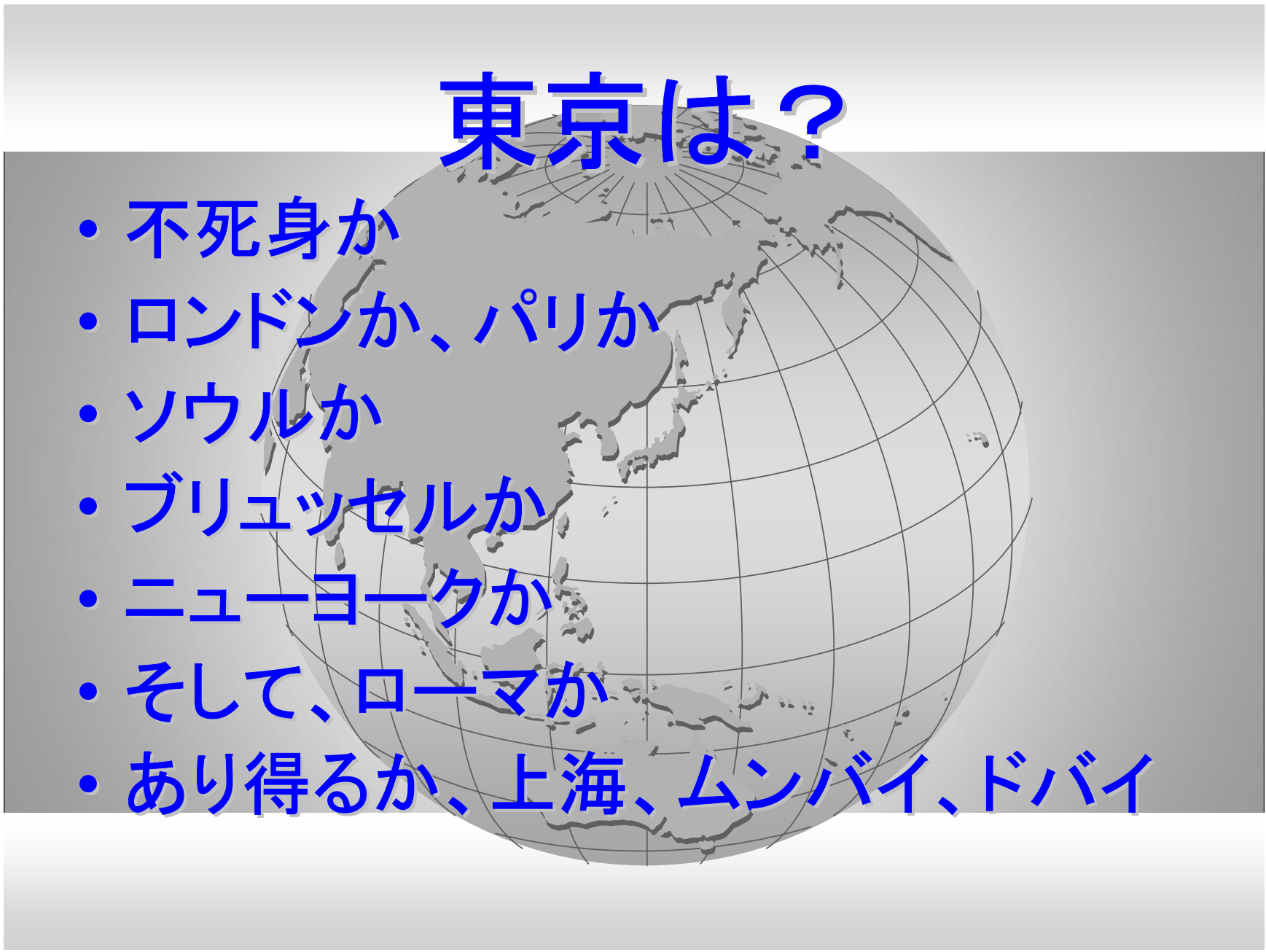
②焼失棟数の分布(都心部) <冬18時、風速15mケース>



- ◆ 木造密集市街地(環6、環7沿い)の焼失が顕著
- ◆ 都心部では不燃化が進展

(中央防災会議資料)

# 東京は？



- 不死身か
- ロンドンか、パリか
- ソウルか
- ブリュッセルか
- ニューヨークか
- そして、ローマか
- あり得るか、上海、ムンバイ、ドバイ